

JASPA

Japan Software Party Association

2019年号
NO.62

挑戦！ Digital Transformation

北海道ソフトウェア事業協同組合
埼玉ソフトウェア事業協同組合
ソフトウェア事業協同組合
Y R P 情報産業協同組合
関西コンピュータ技術協同組合
K T - N E T
一般社団法人日本個人情報管理協会
一般社団法人ITキャリア推進協会
特定非営利活動法人日本情報技術取引所

青森県ソフトウェア協同組合
首都圏ソフトウェア協同組合
電算ソフトウェア協同組合
静岡県ソフトウェア事業協同組合
広島県西部情報サービス協同組合
一般社団法人全国地域情報産業団体連合会
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
一般社団法人IT検証産業協会

宮城県ソフトウェア事業協同組合
グリーンIT協同組合
中央イメージテクノロジー研究開発協同組合
ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
沖縄県ソフトウェア事業協同組合
一般社団法人テレコムサービス協会
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
一般社団法人日本ニアショア開発推進機構

全国ソフトウェア協同組合連合会



目次

■会長ご挨拶	03
全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)会長 安延 申	
■巻頭特集①	
JASPA特別座談会 経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課	
中野課長に聞く、経済産業省が取り組む重点テーマについて	04
■トピックス、ニュース	
全国組合員の活動実績紹介	10
■特集②	
全国ソフトウェア協同組合連合会の概要	17
JASPA概要、事業内容、役員	18
JASPA組織図、専任委員会の紹介	19
JASPA会員の特典(サービスメニュー)	22
連合会の活動実績、JASPA会員組合	23
■JASPA会員組合の紹介コーナー／NEWS 東西南北レポート	
会員組合の事業内容のご紹介	26
■JASPAからのご案内	
ビジネス市場	34
JASPA共済	36
■NEW LEADERS	
激変するIT業界で活躍するビジネスパーソンへのインタビュー	37
■2018年JASPA活動報告	
賀詞交歓会、運営委員会、懇親会、懇親スポーツ大会など	40
■2019年JASPA活動予定	
JASPAフェア告知	45
2019年運営委員会などの活動予定、編集後記	46

明日の安心のために… JASPA共済

JASPA共済に是非ご加入下さい!!

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)では構成員企業の経営の安定を目指すことにより、ソフトウェア開発関連技術の向上ならびに、構成員企業相互の共済および福利厚生の充実を図る事を目的に共済事業を行っております。それが全国ソフトウェア協同組合連合会共済(JASPA共済)です。

全国ソフトウェア協同組合連合会 生命共済&(上乗せ)がん共済

月会費500円&1,000円の
合計1,500円(1口)~のお支払いで、
会員企業の役員・従業員様の生命共済及び
幅広いがん保障が受けられます。

※詳細は下記JASPA事務局迄お問合せ下さい。

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)共済会事務局
TEL 03-3473-9822【JASPA共済】

ホームページアドレス <http://www.jaspanet.or.jp> E-mail jaspajimu@jaspanet.or.jp

- 1.生命共済では月々一口500円の掛金(2口まで)で死亡時300万円の保障が受けられます
- 2.がん共済では一口1000円の掛金(1口まで)でがん罹患による
 - a.診断給付金100万円、
 - b.入院給付金日額1万円、
 - c.手術給付金(手術の種類により変動)
 の保障が受けられます
- 3.がん共済は既存の生命共済の上乗せ共済です(※生命共済に加入の会員が加入できます)
- 4.1年更新型です。中途解約金はありません
- 5.会員企業単位での全員加入型のみ取扱
- 6.共済会費負担は会員企業(全額損金処理可能)

※毎年決算時に剰余金に対し配当が行われます。



JASPA会報2019年号の発刊にあたり一言ご挨拶をさせていただきます。

・・・と、堅い感じで始めてみましたが、どうも、いまいちピンときません。皆さまもこんな堅い文章は、読む気にもなれないのではないかなと思い、少しトーンを変えて、日頃のスタイルで行ってみようと思います。くだけ過ぎと思われたら申し訳ございません。

先にお詫びを申し上げておきます。

さて、皆さま、当然お気づきのとおり、この原稿を書いている今日は、まだ2018年です。しかし、2018年の時点で、しかも1年間使われる会報の巻頭挨拶を書くというのは、なかなか無謀な作業です。

そのうえ2019年は、波乱の年になりそうな気配に満ちています。5月には元号が変わり、憲法改正や消費税引き上げは、大きな議論になりそうですし、国際的にも米中の貿易戦争や北朝鮮をめぐる動向など色々と波乱含みで、平成最後の年は先を見通すのが非常に難しい年になりそうです。

このような激動の年に、私たちが仕事をするIT業界が経済界の台風目であり続けることは間違いないさそうです。昨年度「GAF A」という言葉(グーグル、アップル、フェイスブック、アマゾンの頭文字を並べたもの)が、流行語大賞にノミネートされました。今や、これらのIT企業は世界経済に影響を与えるプラットフォーム企業とみなされており、その時価総額の合計はインドや英国のGDPを上回るまでになっています。また、昨年10月には米国の小売業の雄とも呼ばれたシアーズが倒産しましたが、その背景には少なからずネット小売りの伸長があると言われています。我が日本政府が発表する経済政策にもインダストリー4.0とかソサエティ5.0とか新しい言葉がちりばめられ、何を言いたいのか良く分かりませんが、なんとなくITの世界がAIやIoTの発展によってリアルビジネスの世界と密に結びついて、従来型の産業も大きな変貌を余儀なくされて、

新しい経済社会が生まれていく・・・ということが示唆されているようです。

しかし、これは、私たちにとっては、ある意味大変なことです。考えてみれば、日本のIT企業、ソフトウェア企業のユーザーは「ビジネス」が大半でした。いわゆる「業務系」と呼ばれる様々なシステム、例えば財務会計だったり、人事給与、販売管理や生産管理など様々な企業の基幹システムを請け負って開発する、あるいは、そうした開発企業から仕事を受注したり、SES契約で人材を提供したりして、ビジネスを成立させてきた訳です。ところが、こうしたお客様であるユーザー企業群が、「これからの時代、大きく変わるぞ!!」とされているわけです。自動運転や電気自動車、MaaS(モビリティ・アズ・ア・サービス)という言葉に象徴されるように、日本の基幹産業であった自動車産業は大きな転換期を迎えようとしていますし、ブロックチェーンに代表されるフィンテックは金融業界を大きく変えそうです。

シアーズの次に困難を迎える企業が日本の小売業でない保証もどこにもありません。

私たちは、このような激変の時代に経営の舵を取っていかなければなりません。これは、なかなか大変な仕事ですが、やりがいのある仕事とも言えます。

なんといってもIT業界のトータルな市場が成長していくことは間違いないのですから。

この変化の時代、JASPAは政策や市場の動向などの様々な情報をいち早く入手して皆様にお伝えするとともに、政治や行政に向けて皆様の声をできるだけ届けていきたいと考えています。また、会員相互の交流を深めていくために様々なイベントなども企画してまいります。この変化の時代に会員企業の皆様ますます隆盛の時を迎えられますように、出来るだけのご支援をして参りたいと考えておりますので、なにとぞよろしくお願い申し上げます。



**JASPA
特別座談会**

■日 時 平成30年10月24日(水)15:00~17:00

■場 所 JASPA会議室

中野 剛志 (経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課課長)

【全国ソフトウェア協同組合連合会】

安延 申 (JASPA会長、首都圏ソフトウェア協同組合理事長、日本IT団体連盟副会長)

太田 貴之 (JASPA副会長、宮城県ソフトウェア事業協同組合理事、教育・人材委員長)

河原 健光 (北海道ソフトウェア事業協同組合、JASPA交流副委員長)

三浦 克之 (青森県ソフトウェア協同組合副理事長)

青木 雅秀 (宮城県ソフトウェア事業協同組合理事)

田中 豊隆 (YRP情報産業協同組合)

比毛 寛之 (KT-NET)

田井中 友香 (首都圏ソフトウェア協同組合理事、JASPA広報副委員長)

川井 利通 (JASPA専務理事、ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合理事長)

奥出 邦且 (ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合理事、JASPAビジネス副委員長)

青谷 哲也 (JASPA参事、ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合理事)

(安延) 本日は我々連合会の認可省庁である経済産業省情報技術利用促進課の中野課長をお招きして座談会をしたいと思います。当連合会からは全国各地の組合会員に参加いただきました。各地の状況などを報告いただきながらIT業界の発展に意義ある討議になればと願っています。まず、中野課長から施策や重点テーマについてお話をお願いします。

1. IoT税制

(中野) コネクテッド・インダストリーズ税制(IoT税制)は、皆さまのご協力もあり、要望事項が広く認められた制度となりました。この制度は、例えばセンサーによって収集したデータを、AIで解析して、その解析結果をロボットの動作に反映させるというような一連の流れがあった場合、データ解析のソフトウェアのみならず、センサーやロボットも新規投資であり、かつ、それらがつながっているのであれば全て税制(減税)の対象になるということです。2020年度末までの措置で、各設備の投資額について特別償却30%または税額控除3%を選択適用でき、さらに前年度比増加率3%以上の賃上げを伴う場合

には、3%ではなく5%の税額控除が適用可能になるという設計になっています。

昨年度にご質問を頂いた、最低投資額5000万円という要件については、設備単位ではなく事業全体、そして税制の対象期間は2020年度末までの約3年なのですが、この期間を超える最大5カ年の事業計画の中で税制の適用対象外の設備も含めた設備投資の合計額が5000万円以上であれば良いということです。当初懸念されていた点について緩和することができましたので、中小企業でも適用できるところがだいぶ広がるのではないかと考えています。

この税制は、レガシーシステムの問題にも着目し、レガシーマイグレーションを行う際にも活用できるような設計にしています。レガシーシステムの問題は15年前ぐらいから言われているにもかかわらずあまり進んでいないことから、経済産業省では改めてこの問題を取り上げ、9月7日に「DX(デジタルトランスフォーメーション)レポート」を出して議論を仕掛けています。

2. レガシーシステムの問題点

レガシーシステムの問題は特に大企業

で深刻ですが、あるアンケートでは、大企業のみならず約8割の企業がレガシーシステムを抱えていると答えています。建築・土木は半分くらいが「レガシーシステムはない」と言っていますが、これはIT化自体が遅れているからであろうと考えられます。さらに、「レガシーシステムはない」と回答した企業の割合は、社会インフラ系(電力や鉄道など)は少なく、金融に至ってはゼロでした。これは恐らく、顧客の数に応じてシステムが大きくなる、あるいは、扱っているデータが重要だと堅牢なシステムが必要だという思いがあるからだろうと推察されます。また、システムを刷新して、それに合わせて業務を改革するという発想が、なかなか持てないということも考えられます。

例えば、大手の保険会社で50を超える保険商品があると、それに合わせてそれぞれシステムを作っていたらとんでもないことになってしまいます。しかし、情報システム部門が「50は多過ぎるから30にしてくれ」と言っても、営業部門は絶対に聞き入れてくれません。そのため、社長などの決断が必要になるのですが、ITに疎い



中野 剛志
経済産業省
商務情報政策局 情報技術利用促進課長

経営者が多く、業務をシステムに合わせて減らすという発想にはなかなか至りません。これは中小企業でも同様ではないかと思えます。加えて、社会インフラや金融の場合、業務自体に国の規制がかかっているため、行政の理解も必要です。しかし、行政はさらに理解がないので、どうにも動きが取れないというのが実情でしょう。

そして、見掛け上は大きなIT予算を投じていても、ラン・ザ・ビジネス、つまり現行システムの維持管理がIT予算の9割を占めている企業が40%以上です。さらに、システムは古くなるとコストがよりかかるので、多分9割では済まなくなっていくと思います。これは技術的負債とも呼ばれていて、90年代終わりから2000年代にあった銀行の不良債権問題と同じです。古いシステムを刷新できなくてほとんど維持管理に回ってしまったので、いろいろな新しい提案があってもそちらに出すお金がないし、そうかと言ってシステムが古いので、AIを取り入れようとかiPadで操作できるようにしたいと思っても、iPadとつながらないことがある。あるいは、5Gが入ってくると扱うデータの量が膨大になりますが、システムが古いとそのデータは扱いきれないどころか、今データがどこにあるかも本当は分かっていないなどと恐ろしいことをおっしゃる方もおられます。つまり、DX(デジタルトランスフォーメーション)がどうかSociety 5.0がどうかと言うのはいいのですが、Society 4.0がどうと横たわっていてどこかという問題があるということです。

3.システムの刷新と人材対策

人材不足の問題の一つは、システムの維持管理のための人材が不足していることです。昔、このシステムの仕様を決めた人はもう引退してしまい、その後に入社した人はそれを動かしているだけで、しかもカスタマイズを何度も繰り返しているの



太田 貴之
JASPA副会長
宮城県ソフトウェア事業協同組合理事、
教育人材委員長

複雑に小さな変更が絡み合っていて、全体像が分からなくなっています。他方、若い人材は奪い合いになっていて、やっと雇った人材は大学や専門学校で最先端の技術や言語を学んできたのに、入社したら2世代前の言語、2世代前の技術のお守りをさせられて、ばかばかしいと言って辞めてしまう。こうしてシステム維持管理の人材はどんどん減っていき、コストも上がるという問題があるのです。

それから、人材不足だと言って、役所も大学も人材育成を一生懸命やっているのですが、その有為なIT人材のほとんどをメンテナンスに使っていることも問題です。システムが刷新されれば、そこに使われている人材が解放されて、別のところに行くはずですが。ある会社では、システムを刷新したところ、業務が変革し、システム部門が小さくできて、要らなくなったITのメンバーを営業や製造部門に回したところ、気付いたらITの分かる営業、ITの分かる製造という人材ができていたと言うのです。これを聞いて、レガシーシステムの刷新を促すことは、今言った二つの意味で人材対策の一つなのだと確信したので、腹をくくってやろうかなと思っています。

4.2025年の崖

IT関連に従事している方々は、今私が申し上げたような話はよくご存じですが、そういう人たちの掛け声だけではどうにもなりません。そのため、情報関係の方々からは、経済産業省が経団連などの危機感をあおって、社長の決断の後押しをしてくださいとされています。

そこで、経済産業省では、『2025年の崖』の克服という副題でDXレポートをまとめました。まず、人材面では、古いシステムを分かっている人材はもう引退しています。ある会社では、今は辞めた人と呼び戻していると言っていますが、2025年になるとその人たちは呼び戻せない年齢になってしまっている可能性が非常に高い。

それから、技術の旧・新で、旧にはサポート切れ問題があります。サポートが終了したら、普通は次のバージョンに移行すればいいのですが、日本企業は特にカスタマイズを繰り返してしまっているため自動的にバージョンアップすることができません。全部見直さなければいけないのですが、見直しには非常にコストがかかるので放置されているところも多い。特に、2025年にはSAPのERPのサポートが終了予定であるため、製造業を中心に2000社ぐらいが、どうしようかと頭を抱えているそうです。

それから、新しい技術では、クラウド、5G、アジャイル開発、AIなどがどんどん普及していきませんが、古いシステムを持っているとこれに対応できません。その状態で新しいシステムに変えた企業と競争しないといけない。特に中国の企業のように元々新興国、新興企業には最初から新しいシステムしかありませんから、そういうところとの競争は一層大変になります。多

分、2020年代前半には画期的な技術がどんどん入ってきます。それに対応できる企業とできない企業で決定的な差が付いてしまい、その差は2025年になると取り返しがつかないところまでいってしまう。従って、2025年までに何とかしてくれというメッセージを、「2025年の崖」という言葉で強く発しています。

ただ、いざ刷新するとなると、皆さんには釈迦に説法ですが、システムの刷新はちゃんと計画しないと非常に難しいのです。特にユーザー企業がきちんと要件を定義せず、全部丸投げして後でトラブルになることも多いので、まずはユーザーが要件定義をしっかりと、計画もきちんと立てることが必要です。そして、そうした上で、2021～2025年をシステム刷新集中期間と位置付けましょうと言っています。企業もいろいろなところに投資しなければいけないのでシステムの刷新は先送りしてしまいがちですが、せめて2025年までの5年間だけでもシステム刷新を経営の最優先課題として考えませんか。そうしない



安延 申
JASPA会長
首都圏ソフトウェア協同組合理事長
日本IT団体連盟副会長

と、DXができませんというような格好で運動したいと思っています。

5.DXシナリオ

これからITが経営の中心になり、IoTで製造業のど真ん中にITが来ることになる、あらゆるユーザー企業がある種の“デジタル企業”になります。製造業ではトヨタ自動車がその典型で、自動運転ということでAIとITの技術者をどんどん採用しています。

企業は、2017年にはIT予算のうち8割以上を維持管理、2割をバリューアップに使っていましたが、システムを刷新して軽くなると、これが6対4ぐらいになり得ます。そうすると、バリューアップの方に投資が行くので、皆さんのシステムはバリューアップの部分で儲ける方向に行きます。逆に言うと、システムの維持管理である意味手堅く儲けていた会社は、そこがなくなってしまうという負の面があります。

それから、今は何か新しいサービスをつくろうとすると、古いシステム全体を見直さなければいけないので、数カ月か、場合によっては1、2年かかります。ところが、新しいシステムでは追加的なサービスをすぐに提供でき、リアルタイムでビジネスができる可能性が広がります。

経済産業省として踏み込んだ展望を示したのが、人材面についてです。現在、日本

のIT人材と呼ばれる人たちは、ユーザー側に3割、ベンダー側に7割所属しています。アメリカはその逆、要するにユーザー企業はIT人材を内製しているわけです。ヨーロッパでも5対5ぐらいの割合です。日本では極端にユーザー側が少ないのは、IT企業の方が、きめ細かく対応できる信頼できるアウトソース先だったからです。



比毛 寛之
K. T. NINET

これは良い面ではありましたが、逆にユーザーを甘やかしてしまうことになりました。その結果、ユーザーが自分でアプリを開発してどんどん進めていかなければいけないようなデジタル経営の時代に後れを取っているのです。レガシーシステムをずっと放置していたのも、ITリテラシーが低いせいです。それはやはり、ユーザー企業にIT人材が少ないところに起因しています。

ところが、レガシーシステムを刷新し、

ユーザー企業自身がデジタル企業になると、製造部門にもITが密接に絡んでくるようになって、トヨタ同様、IT人材を自社で雇用して内製するようになる。あるいは、経営のど真ん中にデジタルが来て、かつアジャイル開発のように頻繁に変更を加えることになるのであれば、それをアウトソースするのではなく内製する方向に行くに違いないので、3対7が5対5になるでしょう。

このことが、皆さまのビジネスにどのようなインプリケーションを持つかは微妙なところ。バリューアップの方に投資が行くので、ITのマーケット自体が大きくなるということではいいのですが、ちょっとしたアプリ開発ぐらいだとユーザーが内製してしまうので、そういうものはもう受託できなくなるかもしれません。そうすると、アウトソース先としては、もっとバリューの高いものが作れるように専門性を高めなければいけません。つまり、マーケットは大きくなると思いますが、質的には絞り込みが入ってくる可能性があるということです。その代わり、付加価値は上がるので、給料は高くなると思います。IT産業の年平均成長率がアメリカ並みの6%になるのも夢ではないということです。その一方で、専門性が低く、低所得でブラックでもいいからと働いていたような人たちの雇用は失われてしまうかもしれません。

消費税増税と元号改元とオリンピック



奥出 邦且
ハイテクノロジーソフトウェア開発協同組合理事、JASPAビジネス副委員長

で人手不足ということもあり、今、ITの市場は良好ですが、裏を返せば2020年代以降は不況になるかもしれないということです。ですから、経済産業省としては、IT企業にこれからも伸びてもらうために、オリンピック後は古いシステムを刷新して新しいサービス、新しい技術をどんどん導入しようという波が来ますよという動きをつくっておきたい。そういう動きが見えれば、今からユーザー企業も人材確保なり、サービスや技術の開発なりをして、レガシーシステム刷新の波が来たときに、その需要を取りにいくことができるのではないかと。その意味でもこの機運を盛り上げるべく、施策も考え、シナリオも産業界で共有して、マスメディアなどにも発信しています。

6. 中小企業の現状

(比毛) 私どもが開いたマイグレーションのフォーラムでも、DXレポートを参考

介護現場運営から生まれた

リンケア21 シリーズ



株式会社 システム ツー・ワン

東京都新宿区西早稲田 2-20-15
高田馬場アクセス 8 階 / 〒169-0051
☎(03)5291-1621 ㊟(03)5291-1623
<http://www.sys21.co.jp>

緊急コール対応から介護記録まで

スマホで
完結!



リンケアコール

- ☑ スマホ1台でいつでもどこでも見守り&緊急対応が可能
- ★画像と音声で安否確認ができる
- ★緊急度の高い順に適切に対応できる

- ☑ 利用者対応、介護記録、ご家族との連携圧倒的な使いやすさ
- ★通常の介護記録も同スマホで対応できる
- ★内線・外線電話としても利用できる

この製品は(公財)東京都中小企業振興社
マーケットサポート事業の支援対象製品です。

デイサービスのための記録・請求システム



リンケア21 地域密着

- ☑ 毎日の記録は「誰が・誰に・何をした」の簡単タッチ
- ☑ 請求ミスを防ぐアラート機能搭載
- ☑ 実地調査の書類漏れを一目で確認
- ☑ 全ての機能をタブレットで操作可能

大手フランチャイズチェーンでご利用中!



(株)システムツー・ワンは中央イメージテクノロジー研究開発協同組合(JITRAD)の法人会員です。

にさせていただきました。「2025年の崖」の話をする皆さん非常に興味を持たれましたが、ブラックボックス状態の解消については、お客さま側に現状のシステムの中身を知っている人がおらず、会話をしていてもなかなか通じなかったのが、今日聞いたことをポイントにこれからも話をしていきたいと思っています。

それから、私どもが相手にするのは中小企業です。中小企業はメインフレームを持っておらず、オフコンと呼ばれるミッドレンジ以下のサーバーを使われています。来年の3月で保守を終了すると発表しているメーカーもあるので、せつぱつまっているかと思いきや、意外とのんびりされています。これはオフコンが数百万円でリリースできてしまった経験があるからで



三浦 克之
青森県ソフトウェア協同組合副理事長

すが、マイグレーションにはそれなりの金額がかかります。私たちはそこにはあまり貢献できていないので、経済産業省にはぜひ中小企業向けの対策をお願いしたいところです。

(中野) 実は、このレポートは大企業の問題があまりにも重くて、そちらに目が行ってしまっていますが、経済産業省はそもそも、IT化していない中小企業をどうやってIT化するかということを一生懸命考えていました。中小企業に対しては、支援策として予算が割と出やすく、ITの補助金や税制にはいろいろなものがありますから、あとは意識の問題です。しかし、それ以前に中小企業は自覚症状がないので、実態把握が難しいのです。

そのため、われわれも、中小企業はそもそもIT化していないし、していたところでパッケージソフトを入れていて、大企業のように好き放題カスタマイズしていないだろうから、ブラックボックスでもないのかなと、中小企業の現状をあまり分かっていなかったのです。

7. 深刻な大企業

(安延) 実はオフコンは日本企業独自のカルチャーです。しかも造っていたのは大企業ですから、経済産業省がこれらの大企業の担当者呼んで「おまえのところのユーザー名簿を全部出せ」と言えば、一発で実態把握ができるはずで、案外早く実態把握はできるかも知れません。日本の企業は伝統的に失点が少なければ出世するカルチャーなので、自分がそのポストにいる間に問題が起こらなければいいと考えがちです。そして、失敗をしないためには、プログラムも変えないで、そのまま機械をリプレイスするのが一番簡単で良い方法なのです。ですから、中小企業に危機感を持ってもらうためには、やはり役所がしつこく言うことが大事だと思います。

(奥出) 生保も、ホストのシステムをなくしたいのだけれども、ロジックがあり過ぎて、手が出せないでいるのです。大型コンピュータの信頼性の問題もあって、あと10年、20年は、ホストは残るのかなと思うのですが、うちの若手は、やりたくないと言っています。

(青谷) コンバージョンは古い方に合わせないと成り立たないで、主力のバッチシステムのところは触れないですね。

(比毛) うちもバッチシステムの裏側はCOBOLで、フロントはウェブシステムになっています。そういうところは結構多いですよ。

(中野) COBOLは覚えやすく使い勝手が良いということで、50過ぎの人にからCOBOLを覚えさせてメンテナンスを任せるといったユーザー企業があると聞いたことがあります。

(安延) 日本のビッグ3のハード屋さんは、ずっとレガシーやオフコンを作り続けているのですかね。



青谷 哲也
JASPA 参事、
ハイテクノロジーズソフトウェア開発協同組合理事

(三浦) 富士通は、ハードはもうやめる。その代わり、現在使っている資産をそのまま使いたい場合は富士通のクラウドサービスを使ってくれと言っています。

(安延) 情報システムを人質に取られるようなもので、最悪のパターンではないですか。僕は自分がCIOだったときには、データのバックアップ基盤以外は、クラウドは使いませんでした。システムの中身が良く分からないまま、クラウドに丸投げして移行すると、永遠にクラウドベンダーしか手が出せなくなってしまう。その意味でレガシーよりもっとたちが悪いとも言えます。

(中野) クラウドでロックインされてしまうという問題もありますが、もう一つ、オープン化やクラウド化するとき、ユーザーが業務の仕方は何も変えずに、「現行踏襲でお願いします」と言って、単にクラウドにリフトするというようなものが多



青木 雅秀
宮城県ソフトウェア事業協同組合理事

新JIS Q 15001規格への対応 人財教育（新人研修・改正法UPDATE等） 全面的にサポートいたします



一般社団法人 日本個人情報管理協会

Japan Foundation for Private Information Conservation Organization

〒108-0074 東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺前

Tel 03-4415-2031 Fax 03-4415-2032 e-mail:japico@japico.or.jp URL:http://www.japico.or.jp

いという問題もあります。そうではなくて、レガシーを刷新することが経営の改革・刷新そのものになって、そのメリットを最大限享受できるようにしなければいけないということを、DXレポートでは強調しています。

(青谷) オフコンが出てきたときに、ダウンサイジングの名の下にオフコンが一気に普及して、それがいまだに残っているのです。

(三浦) パッケージでも、オーダーメイドで作ったものは使い勝手が良くて移せないのですよね。

(中野) 現行踏襲だと、DXがなどと言ってもあまり意味がない。しかし、戦略や業務の変革も伴ってやるべきと言っても、社長がしっかりしたビジョンを持って、よほど腹を据えてやらないとできない。それが実はこの問題の難しさです。

(安延) やはりトップの教育ですね。

8.IT人材の活用と掘り起こし

(青谷) 確かにそうなのですが、われわれの業界にも50を過ぎてCOBOLしか知りませんという人間はいて、彼らがやがて年を取ってお荷物になる時代が来ます。でも、そういう人たちがユーザー企業に再就職できて70歳まで勤められるとなると、皆がハッピーなのかなと、ちょっと思いました。

(三浦) うちは、年配者にはRADツール(一部の作業を自動化してくれたり、簡単な操作で複雑な処理を作り込めたりする、ソフトウェアの開発作業を楽にしてくれるソフトウェア)という高速開発ツールを覚えさせています。

(比毛) マイグレーションはあくまで刷新、移植しかやらないので、私どもも今、マイグレーションと共に、その次という意味でお客さまにはRADツールをお勧めしています。ただ、これも使い方を間違えると第2のレガシー化しかねないので、版の管理など、手段をしっかり整えなければいけないとは考えています。

(中野) もう一つ手が届いていないのは、地方公共団体のシステムです。予算の単年度主義や議会の議決を経る必要があるなど、民間企業以上に大変だし、公務員なので業務を変更したくないというインセンティブも強い。その上、扱っている情報は重要で、失うことができないということがありますが、福井県はそこをうまくやっ



川井 利通
JASPA専務理事、
ハイクノロジーソフトウェア開発協同組合理事長

ているようです。地方自治体は、首長の一声で意外とできてしまったりするのです。しかも、一度コストをかけてやればあとは楽になるので、首長さんたちもウェルカムなのです。皆さんが地元の有力企業として市長にそういうことを言って、地元の企業みんなで自治体の刷新をするということも、考えられるのではないのでしょうか。あるいは、病院もシステムの刷新は至難の業ですが、宮崎大学病院はそれをやり遂げました。実際の面倒なところをやったのは地元のソフト屋さんです。大手企業はそんなものはやらないのです。

(青木) 宮城県ソフトウェア事業協同組合の会員企業がJavaの高速化ツールを開発して、エクセルをちょっと知っている主婦5~6人にやってもらっています。

(三浦) 青森県では、自治体の保守・サポートの仕事でご飯を食べているようなソフト会社がまだ結構あります。県は富士



田中 豊隆
YRP情報産業協同組合

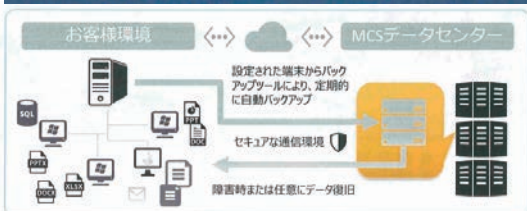
小さな大企業

「北限の地、青森からダイヤモンドの様に光輝く企業」を目指します



- 看護業務支援システム
ナース物語 オフィス EX
- 医療安全支援システム
ナース物語 セーフティ
- 医材マネジメントシステム
ナース物語 サプライ
- 勤務表作成支援システム
ナース物語 ナイスプラン II
- 血糖値管理システム
ナース物語 SMBG
- リハビリ業務支援システム
リハ物語 POST
- 物流管理システム
サプライ物語

おまかせバックアップサービス



看護師向けの業務ソフト「ナース物語」シリーズを自社で開発、販売、導入(構築)、保守を一貫して実施しており、全国47都道府県の病院様で使用していただいております。

看護師向け以外でも「リハ物語」(理学療法士向け)、「サプライ物語」(SPD担当者向け)等を商品として販売し、医療分野でのソフトウェア開発、販売をしております。他に、民間各種企業や自治体へハードウェア販売/ソフトウェア製造、バックアップサービス、講習会やクラウドサービス活用セミナー開催等、幅広いサービスを提供しております。



MCS マルマンコンピュータサービス株式会社

本社: 〒036-8051 青森県弘前市大字宮川3-5-2
TEL 0172-33-5166 FAX 0172-36-3362

東京: 〒110-0016 東京都台東区台東2-9-4
明治安田生命秋葉原昭和通りビル10F
TEL 03-3839-3395 FAX 03-3839-3396
URL: <http://www.mcs-kk.co.jp>

通のパッケージなどを入れていて、地元企業は、そのメンテナンスを請け負ったり、町村のシステムの面倒を見て飯を食っていたのです。ところが、富士通が今は人をみんな東京に集めて、東京で1個パッケージを作って全国に流すようになっていて、地元には富士通の人間はもういません。だから、クラウドになったときにメンテナンスの仕事も地元からなくなってしまうことを心配して、青森県はITビジネス研究会を立ち上げました。

9.将来に向けた種まきを

(三浦) 最近、働き方改革に絡んでリモートワークという話がありますが、県がある会社に業務委託してリモートワークを推進するためのイベントを開いたところ、東京で「リモートワーク」で売り出し中のソフトウェア開発会社が来て「うちの会社は全国から人を雇っています。社会保険にも加入していて、給料は東京並みですよ」と言うスタイルで人材募集するものだから、うちの優秀な社員が辞めてしまったのです。給料にはやはり地域差があるので、これは、地方のソフトウェア会社にとっては、非常に恐ろしいなと思います。

(田中) その点で、DXの事前シナリオに人件費(年俸)600万円という金額が書かれているのですが、お客さまにDXを勧めるときに、具体的な金額が書かれていると先入観を与えてしまったり、社員が「そん

なにももらっていない」と他に流れてしまったりしませんか。

(中野) これは大企業も中小企業も含めた調査の結果として公表されている数字なのですが、確かにそうですね。

(河原) 北海道も、テレワークは結構推進しようとしています。今、北海道に建設会社は30万社程度あり、そこで働いている人は約2万6000人です。うちは、その現場のデータをもって電子納品の書類を作っています。それは1級土木施工管理技士の資格がなくてもできるので、主婦などがテレワークでやっています。

国交省でも、これからは動画もどんどん引用してやっていこうとしていますので、そういう流れでいけば、北海道の建設会社をターゲットに商売をしていくことは、非常に有効ではないかと思えます。

(中野) 今は土木建設業にもデジタルネイティブの若い人材が入ってきているので、チャンスですね。

(河原) ただ、あまりにも人材がサラリーマン化していて、帰属意識を持たせようと社員旅行や飲み会を企画しても、「それは時間外勤務になるの?」という話になってしまうような例もあって、やりにくいというところもあります。

(川井) うちでは、地元のユーザーさんが、派遣されてきた人材を口説いて自社の社員にするということが増えています。それはありなのかどうか。

(河原) これからの展開を考えて、他にも課題を掘り起こしていかなければいけませんね。

(田井中) IT補助金は、おかげさまでとても助かっていますが、このシナリオを見て、将来に向けていろいろな種まきをしていかなないと危ないなと感じました。

(中野) ある意味ベンダーに厳しいシナリオなのですが、これからは高付加価値化して、ITのマーケット自体が大きくなるというところに希望を見いだしていただき



田井中 友香
首都圏ソフトウェア協同組合理事、
JASPA広報副委員長

たいというメッセージも、実はありました。

(太田) 今は多分、Windows95やインターネットが登場した1995年と同じようなインパクトのある時期に差し掛かっているのだと思います。それに高付加価値をキーワードにして対応していくと、やりようによっては面白い時代になっていくのではないかと思います。人材については、地場に密着した初等・中等教育に関わって、健全なる打算を持って囲い込みをしていくくらいのことを、ぜひ考えていただきたいと思います。

(安延) 今は中学校でプログラミングを義務化して興味を持つ生徒が出てきても、大学の情報工学や計数工学の定員が非常に少なく、道が急に狭くなっているという状態です。変わるのが最も嫌いな文科省が相手ですが、ぜひ頑張っていたいただきたいところです。今日はどうもありがとうございました。



河原 健光
北海道ソフトウェア事業協同組合、
JASPA交流副委員長

製造・流通・物流企業様を中心に、IT技術の豊富な経験と業務知識で、
情報システム導入に関する企画からWebシステム開発・
管理や保守まで総合的なサービスを提供いたします。

経営可視化

現場効率化

IT最適化

業務分析

投資効果算定

プロジェクトマネジメント

ERP導入

生産管理

物流管理

株式会社ドルフィンスルー

<http://www.dolphin-through.co.jp>

〒141-0022 東京都品川区東五反田1-10-8 五反田S&Lビル4F TEL:03-5423-0236 FAX:03-6426-7837



株式会社ドルフィンスルーの登録商標です。

■ JASPA フェア 2018 を開催しました

今年は、品川区立総合区民会館(きゅりあん)に場所を移し、過去最大の505名の方に来場いただいた。

【基調講演】

・IT政策の動向 経済産業省 商務情報政策局 総務課長 渡邊昇治氏

IT投資減税や各種補助金などの政策が数多く導入されており、こうした政策を、ビジネスへの波及効果という観点から語っていただいた。

【特別講演】

・笑顔のもとに笑顔が集まる 林家たい平氏

笑点でもお馴染みの林家たい平師匠による笑顔活用術、笑いあり涙ありの大変興味深いお話だった。

【技術トラック】

・AI・IoT時代におけるデータ標準化と政府の取組み 政府CIO上席補佐官、経済産業省CIO補佐官 平本健二氏
AI時代におけるデータの重要性及び利用効率の重要性について政府の取り組みを交えて講演していただいた。

・AI囲碁・世界6位の実績を踏まえて 株式会社トリプルアイズ 代表取締役CEO 福原智氏

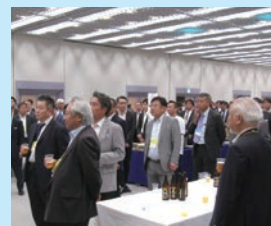
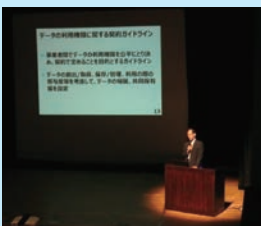
囲碁AI国際大会「第1回世界電腦囲碁オープン戦」にて、トリプルアイズは 予選で世界5位。秋葉原で行われた2017年12月のAI竜星戦では世界6位となった。その技術解説と中国のテンセントとの対決の模様を解説していただいた。

【展示コーナー】

株式会社豆蔵
株式会社エヌティ・ソリューションズ
マジックソフトウェア・ジャパン株式会社
コムチュア株式会社
ラック・インターナショナル株式会社
株式会社TOKAIコミュニケーションズ
株式会社ワイズトータルサポート
株式会社アイ電子工業
株式会社昭文社
株式会社アイ・クリエイティブ
東京システムハウス株式会社
株式会社アーベルソフト
アライズイノベーション株式会社
日本システムスタディ株式会社
IoT検定制度委員会
株式会社ハツコーエレクトロニクス
株式会社RJC
株式会社ユー・エス・イー

【ビジネス市場(4団体合同ビジネスマッチング)】

(神情協)株式会社エンベックスエデュケーション
(神情協)クオリティソフト株式会社
(CSAJ)株式会社ココスペース
(CSAJ)株式会社シイエヌエス
(iVIA)バルテス株式会社
(iVIA)日本ナレッジ株式会社
(JIET)日本システム開発株式会社
(JIET)ビップシステムズ株式会社
(JASPA)コムチュア株式会社
(JASPA)株式会社TOKAIコミュニケーションズ
(JASPA)株式会社亜細亜情報システム
(JASPA)株式会社ドルフィンスルー



■ JASPA 元会長 向浩一氏が藍綬褒章を受章しました

平成30年春の褒章において、JASPA向 浩一最高顧問（JASPA元会長・コムチュア株式会社 取締役会長）が「藍綬褒章」を受章しました。IT業界において長年にわたり新規産業の創出に携わり、業界全体の発展に大きく寄与した功績が認められ、「新規産業功績」としての受章となりました。5月15日には、東京プリンスホテルにて褒章の伝達式、皇居にて天皇陛下による拝謁が行われ、JASPAからは、安延会長、横尾事務局長も臨席し、受章をお祝いいたしました。また、7月27日には、グランドプリンスホテル高輪にて、祝賀会も催され、IT業界だけでなく、各方面より多くの皆様がお祝いに駆け付けました。推薦団体であるJASPAからも安延会長、林副会長、太田副会長をはじめ約50名が出席し、向最高顧問を祝福しました。安延会長をはじめとする来賓のご挨拶、花束贈呈、向様の受章者謝辞、サーベラージュによるアトラクション、向様の友人であるテノール歌手の秋川雅史様のステージ、赤坂芸者によるお祝いの舞など、最初から最後まで盛りだくさんのイベントでお客様を楽しませてくれました。



■ JASPA 米国(サンフランシスコ・シリコンバレー)視察報告

2018年11月18日～23日の6日間、総勢19名でサンフランシスコ、シリコンバレーのIT企業を視察しました。

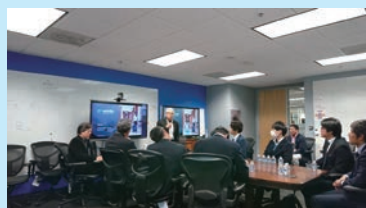
11月19日より、IT企業の視察を行う。シリコンバレーまでは市内より車で約1時間の移動。「Plug N Play Teach Center」を視察。スタートアップ企業と投資家を結びつけるインキュベーターであり、トップのお二人より説明を受ける。その後、スマートハウスのモデルハウス「Amazon Experiens」を見学。家中の家電やセキュリティなどを、スマートスピーカーによる操作を体験。帰路「B8ta」にて最新のガジェットを見学して本日の視察終了。

11月20日、視察2日目、本日もシリコンバレーへ移動。自立走行型のデリバリーサービスロボットを開発している「Saviok」を視察。最高技術責任者による会社説明を受けロボットのデモを見学。昼食後に「Apple Park Visitor Center」に立ち寄り、サンフランシスコ市内へ移動。一番旬なIT企業「Slack」を視察。日本人技術者より会社説明を受ける。市内一等地の素晴らしいオフィス環境に唖然。次に「Amazon Go San Francisco」でレジ無しコンビニを体験。買い物は全てアプリで精算。皆さん沢山の土産を購入していた。チャイナタウンでの夕食後はホテルまで「Uber」を初体験。

11月21日、本日は自由行動。各々、市内観光やナバレーのワイナリーまで足を延ばして最終日を満喫。夕食は東京システムハウス林社長の紹介で、日本食料理「いろいろ家」にて大宴会。「いろいろ家」他3店舗を経営する女性オーナーの小澤さんにアメリカでのビジネスについてのご苦労をお聞かせしたり、経営相談など有意義な食事会となる。

11月22日、午前ホテルをチェックアウトし空港へ。翌23日夕刻に帰国。大きなトラブルもなく、全員無事に視察終了。

今回の視察では経営層だけではなく、各社社員の皆さんも多く参加した。社員の皆さんが視察先で積極的に質問する姿を見て多くの刺激を受けていることを実感した。シリコンバレーのスピード感や、生活に入り込んだIoTを体験した実りある6日間だった。



■ ヨコスカ × スマートモビリティ・チャレンジへの取り組み YRP 情報産業協同組合

YRP情報産業協同組合では、横須賀市ならびにYRP研究開発推進協会及び株式会社横須賀テレコムリサーチパークの推進するヨコスカ×スマートモビリティ・チャレンジのタスクフォースへ参画しています。本取り組みでは横須賀市におけるスマートモビリティ(賢い移動運搬手段)の開発・実証の推進及び関連産業・周辺産業の集積を図ることで、新規ビジネスの創出、社会課題の解決及び地域の活性化に資することを目的としています。

これまでに6回の会合を通じて、これから数年間続く展開戦略についての検討を深めました。2019年1月末には横須賀市YRP地区においてスマートモビリティアイデアコンテスト、デモ・展示、シンポジウムを予定しています

(<https://www.sukamobi.com/>)。



■ 情報技術 (IT 系) 企業合同説明会を開催しました 静岡県ソフトウェア事業協同組合

2018年4月25日と26日、県内中部地区(静岡市)と東部地区(沼津市)にて、2019年3月卒業予定者向けSSA情報技術(IT系)企業合同説明会を開催しました!!

4日間で組合企業延べ48社が参加し、総勢55名の来場者を迎える大盛況となりました。御来場頂きました学生の皆様、学校関係の皆様、御協力賜りました組合企業の皆様に深く感謝申し上げます。当会場内には学生の皆様が気軽に相談できるIT業界専門コーナーが設けられており、IT系の企業、IT系の職種にご興味のある就活生の皆様におかれましては、静岡県の優良IT企業が集結する絶好の機会となります。今後も合同企業説明会を通じて業界の魅力と業界人の想いをアピールしていき、学生の皆様とのより良いマッチングに繋げていくために継続していくことが大切と考えております。来年以降も、皆様の御来場を心よりお待ちしております。



みんなのテクノロジーが社会と美しくつながる

USER

小売

建設

介護・病院

バス

製造

タクシー

鉄道

金融

ホテル

DEMAND



マルチサイドプラットフォーム

マッチメーカー

DEVELOPER

クラウド
サービス

スマホ
アプリ

スマート
スピーカー

ドローン

VR

AI

IoT

SUPPLY

SCIENCE ARTS

株式会社シアンス・アール

〒103-0004 東京都中央区東日本橋二丁目8番5号 東日本橋グリーンビルアネックス10階
TEL: 03-5846-9670

大手100社以上が利用中

AEON

JR東海

7&7

詳しくはAldioで検索

Aldio



■ HISCO 第15回 IT 経営改革フォーラムが開催されました

ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合主催「第15回 IT 経営改革フォーラム」が開催されました。

開催日：2018年10月17日(水) 12:00～19:40

開催場所：OIT梅田タワー 3F 常翔ホール(大阪工業大学梅田キャンパス)

テーマ：「企業が目指す未来社会」

～Society 5.0 Connected Industriesの実現に向けて～

主な講演は以下の通り

1.『デジタルトランスフォーメーションに向けて

～ITシステム「2025年の崖」の克服とDXの本格的な展開～』

経済産業省 商務情報政策局 情報産業課 企画官 和泉 憲明 氏

2.『AI時代の人材育成』

大阪工業大学 ロボティクス&デザイン工学部長 教授 大須賀 美恵子 氏

3.『ウェアラブルからサイボーグへ』

神戸大学大学院工学研究科 教授 塚本 昌彦 氏

天候と多くの参加者に恵まれ、来場者230名、懇親会136名にもおよび、関西を中心に遠くは九州・関東からもご参加頂きました。スポンサー様のパネル展示・製品紹介等も好評頂き、有意義な情報発信が出来たものと思います。めまぐるしく発展するICT技術及びスマート情報社会の中で、わたしたちIT企業が目指す未来社会のビジョンや、新しいビジネスモデルのヒントになるITフォーラムを今後も目指したいと考えております。



■ KT-NET フェスタ 「IoTと仕事道具改革～IoT・AI搭載の道具で“働き方”と“生産性”～」が開催されました

2018年10月23日、東京都品川区(品川フロントビル会議室)において、「IoTと仕事道具改革～IoT・AI搭載の道具で“働き方”と“生産性”～」をテーマに、KT-NETフェスタを開催しました。

主な講演以下の通り

1. 基調講演『テクノロジーの変化に伴う働き方・考え方の変容～農業・介護を事例に～』

慶應義塾大学 環境情報学部 教授 神成 淳司 氏

2. 『林業ベンチャーとIT職人のIoT安全装置の誕生ストーリー「キツツキハンマー」』

(株)東京チェンソーズ 青木 亮輔 氏／ブラムシステム(有) 松本 敬吾 氏

3. 『IoTとヘルスケア～可視化だけで良いのでしょうか?～』

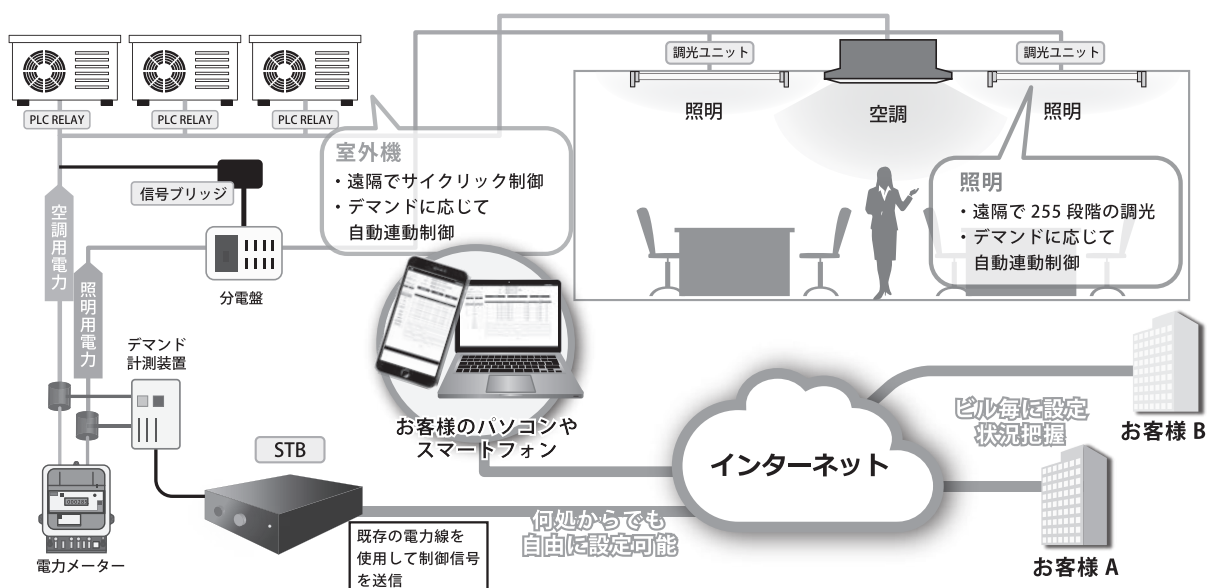
(株)KDDI総合研究所 教育・医療ICTグループ グループリーダー 米山 暁夫 氏

展示協賛企業によるミニプレゼンでは、JASPAからWeb版ビジネス市場、中島名誉会長による沖縄ITイノベーション戦略センターのPRもさせていただきました。

加えて、隣接会場では、IoT関連の製品サービスのデモ展示、ロボットの使い方コンテストの決勝戦も行われるなど、大盛況のうちに終了することができました。



BEMSをOZUPLCで簡単に実現!



株式会社テラソリューション

所在地：〒036-8084 青森県弘前市高田2丁目13-18

TEL:0172-27-2705 FAX:0172-27-2660

株式会社エー・アール・シー

高品質なITソリューションをワンストップで

コンタクトセンター

運用・保守

勤怠管理システム

アプリケーション開発

オンサイト

キッティング

ネットワーク・サーバ構築

ネットワーク工事・施工



<https://www.arcjp.com/>

・QMS/ISMS資格
・電気通信工事業
・JAPICOマーク

登録番号:JMAQA-S083、2348
東京都知事認可(般-17)第112889号
登録番号:JG12121300003

MISPA 宮城県ソフトウェア事業協同組合

組合企業の活性化と拡大

理事長 木村 裕

(有)キムラオフィス・コーポレーション
(株)PE-BANK
地球ソリューションズ(株)
(株)地域創造
(株)プロテウス
(株)エスクルー
(株)コーワークス

木村 裕
安孫子 慶太
青木 雅秀
亀岡 幸康
中澤 貞憲
伊藤 正則
淡路 義和

(株)エヌピーエス
(株)エー・アール・シー
東京システムハウス(株)
(株)トライコ
日本エス・ディー・エル(株)
(株)イトナブ

柴田 信幸
太田 貴之
林 知之
丹野 尚弘
伊藤 康典
古山 隆幸

お客様のためのITサービスカンパニー

ITサービスを通じお客様の課題を迅速に解決します

TOREPAS

食品企業への総合
ソリューションのご提案

Golferweb

ゴルフの新たな
楽しみ方を提供



リーダーボード機能が好評！
ゴルフスコア管理アプリ

**AI/IoT
あいさつトレーナー**

AI 活用の感情解析技術
で挨拶力向上！

Bizmap

ビジネスモデル作成
補助ツール

MMS
Mainframe Migration Service

脱レガシーと DX 化を実現する
ための移行ソリューション

Wagby

システム開発を自動化
超高速開発ツール

AIRead

AI を活用した次世代 OCR
文字の読取精度の向上

About JASPA

全国ソフトウェア協同組合連合会の概要

「全国ソフトウェア協同組合連合会」は、
中小企業等協同組合法第27条の2の第4項に基づき、
1996年1月25日に通商産業大臣より設立認可(7機第1480号)を得て、
1996年2月20日に設立し、20年以上の実績を持つ中小企業の為の組織です。
地域を超えた交流、最先端の技術やサービスについて共同研修、情報共有、
さらにIT業界の発展の為の政界、官界、業界団体との情報交換や提言など、
若手経営者を中心に取り組んでいます。
2019年1月現在の会員数は15組合、10団体。

北海道ソフトウェア事業協同組合
宮城県ソフトウェア事業協同組合
首都圏ソフトウェア協同組合
ソフトウェア事業協同組合
中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
静岡県ソフトウェア事業協同組合
関西コンピュータ技術協同組合
沖縄県ソフトウェア事業協同組合
(賛助会員)

K T - N E T

一般社団法人テレコムサービス協会
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
一般社団法人ITキャリア推進協会
一般社団法人日本ニアショア開発推進機構

青森県ソフトウェア協同組合
埼玉ソフトウェア事業協同組合
グリーンIT協同組合
電算ソフトウェア協同組合
Y R P 情報産業協同組合
ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
広島県西部情報サービス協同組合

一般社団法人全国地域情報産業団体連合会
一般社団法人日本個人情報管理協会
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
一般社団法人IT検証産業協会
特定非営利活動法人日本情報技術取引所

全国ソフトウェア協同組合連合会(略称：JASPA)は、中小のソフトウェア業の発展のために通商産業(現経済産業)大臣より設立認可を得て、1996年2月20日に設立し、今年で23年を迎えました。

現在の会員数は北海道から沖縄までの15組合(会員企業約300社)および賛助会員10団体を有する全国ネットの組織に拡大、発展しました。

<概要>

名 称	全国ソフトウェア協同組合連合会 (JASPA : JApan Software Party Association)
所 在 地	〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番8号 グレイスビル泉岳寺前
設 立	1996年2月
経済産業省認可	7機第1480号
出 資 金	3,600千円(1口50,000円)
加 入 団 体	全国中小企業団体中央会 一般社団法人情報サービス産業協会 一般社団法人全国地域情報産業団体連合会 一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 一般社団法人IT検証産業協会 特定非営利活動法人日本情報技術取引所 一般社団法人日本IT団体連盟 一般社団法人日本テレワーク協会 一般社団法人テレコムサービス協会 一般社団法人日本個人情報管理協会 一般社団法人ITキャリア推進協会 一般社団法人日本ニアショア開発推進機構 地域活性学会

事業内容

Description of Business

当連合会は、各地の組合が取り組む「共同受注」「共同研修」「技術者と仕事のマッチング」などのノウハウの交換、さらに連合会の主催による「海外事情の視察」や「海外企業とのビジネス交流会」「有力情報通信技術研究機関との先端技術情報研究会」「政界、官庁、業界幹部をお招きする交歓会」「経済産業省幹部との意見交換会」などを実施し、成果をあげつつあります。各組合およびその加盟企業と連携して、ソフトウェア業界の活性化と会員組合および加盟企業の発展につくしております。

役員

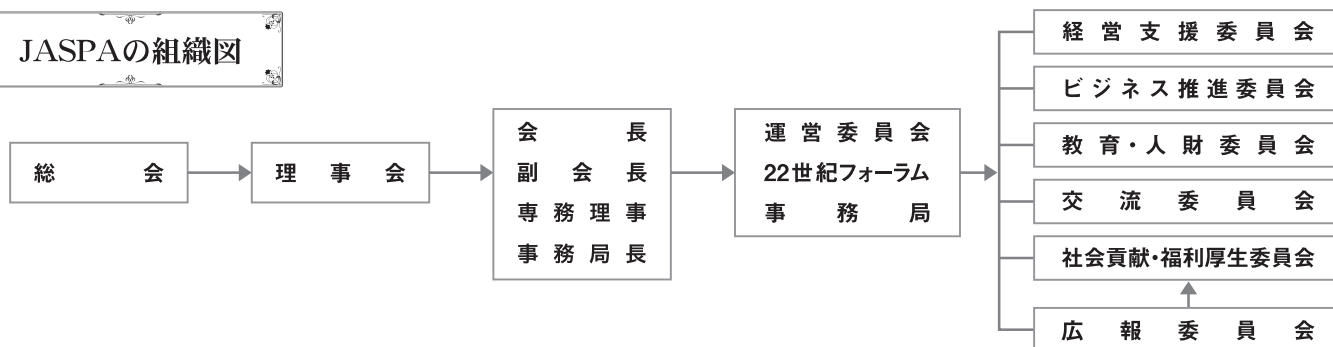
※2019年1月現在

Board of directors

会 長	安延 申	(首都圏ソフトウェア協同組合 理事長)
副 会 長	太田 貴之	(宮城県ソフトウェア事業協同組合 理事)
副 会 長	林 知之	(埼玉ソフトウェア事業協同組合 理事長)
専務理事	川井 利通	(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 理事長)
理 事	朝倉 幹雄	(北海道ソフトウェア事業協同組合 理事長)
理 事	長内 睦郎	(青森県ソフトウェア協同組合 理事長)
理 事	齋藤 光仁	(首都圏ソフトウェア協同組合 理事)
理 事	磯崎 澄	(ソフトウェア事業協同組合 理事長)
理 事	安齋 輝雄	(電算ソフトウェア協同組合 理事長)
理 事	成川 秀樹	(静岡県ソフトウェア事業協同組合 理事長)
監 事	堀越 正	(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合 専務理事)
監 事	幸地 長秀	(沖縄県ソフトウェア事業協同組合 理事長)
参 事	木村 裕	(宮城県ソフトウェア事業協同組合 理事長)
参 事	青谷 哲也	(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 理事)

事務局長	横尾 良明	(首都圏ソフトウェア協同組合 最高顧問)
名誉会長	中島 洋	(首都圏ソフトウェア協同組合)
最高顧問	向 浩一	(首都圏ソフトウェア協同組合)
顧 問	木村 俊昭	(地域活性学会 常任理事)
顧 問	岡積 正夫	(グリーンIT協同組合 理事)
顧 問	石井 一二	(首都圏ソフトウェア協同組合 顧問)
顧 問	石渡 辰夫	(静岡県ソフトウェア事業協同組合 相談役)

JASPAの組織図



JASPA専任委員会の紹介

(全国ソフトウェア協同組合連合会)

連合会の社会貢献活動および会員の為に必要な共同事業や
会員の経済活動を支援するための専任委員会の概要、目的と具体的な活動を紹介します。

JASPA 22世紀フォーラム

概要・目的

JASPA の理念を継承し、更なる発展成長を目的とした若手経営者を中心とした組織で、2014 年より本格的活動を開始した。

【JASPA 理念】・技術力や経営基盤の強化 ・社会的信頼の向上 ・情報社会の発展に貢献

活動内容

22世紀フォーラムを構成する各委員会の活動支援及び、22世紀フォーラム全体の運営及び事務局を担当する。

メンバー

2019年1月現在

	名 前	所 属 委 員 会	主 な 所 属 組 合／組 織
1	林 知之	会長／交流委員長／ビジネス推進	埼玉ソフトウェア事業協同組合
2	青谷 哲也	副会長／経営支援	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
3	太田 貴之	副会長／教育・人財委員長／社会貢献・福利厚生	宮城県ソフトウェア事業協同組合
4	守田 徹	顧問／広報委員長	グリーンIT協同組合
5	石井 雄二	幹事／ビジネス推進委員長	K T-N E T
6	塚本 学	幹事／経営支援委員長	首都圏ソフトウェア協同組合
7	櫻井 多佳子	幹事／社会貢献・福利厚生委員長	首都圏ソフトウェア協同組合
8	河原 健光	交流副委員長／ビジネス推進	北海道ソフトウェア事業協同組合
9	波佐 満成	ビジネス推進	北海道ソフトウェア事業協同組合
10	池田 孝博	経営支援	北海道ソフトウェア事業協同組合
11	小山 守	ビジネス推進	宮城県ソフトウェア事業協同組合
12	丹野 尚弘	交流	宮城県ソフトウェア事業協同組合
13	堀 明子	経営支援	埼玉ソフトウェア事業協同組合
14	原口 一孝	広報	埼玉ソフトウェア事業協同組合
15	砂田 剛	交流	埼玉ソフトウェア事業協同組合
16	郡司 良男	経営支援副委員長／教育・人財	首都圏ソフトウェア協同組合
17	神崎 浩二	経営支援	首都圏ソフトウェア協同組合
18	田井中 友香	広報副委員長／社会貢献・福利厚生	首都圏ソフトウェア協同組合
19	鈴木 勝博	教育・人財副委員長	首都圏ソフトウェア協同組合
20	福原 智	教育・人財	首都圏ソフトウェア協同組合
21	通事 政章	交流	首都圏ソフトウェア協同組合
22	堀越 正	経営支援	中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
23	平川 学	ビジネス推進	中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
24	飯嶋 隆人	ビジネス推進	中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
25	山藤 武志	広報	中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
26	安齋 輝雄	ビジネス推進	電算ソフトウェア協同組合
27	小口 日出彦	交流	グリーンIT協同組合
28	實石 貴久	交流	静岡県ソフトウェア事業協同組合
29	奥出 邦且	ビジネス推進副委員長／交流	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
30	伊集院 一人	ビジネス推進	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
31	高畑 道子	社会貢献・福利厚生副委員長	ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
32	近森 満	経営支援／教育・人財	K T-N E T
33	古賀 欣治	教育・人財／交流	K T-N E T
34	蕭 燭森	交流	K T-N E T
35	明神 浩	交流	テレコムサービス協会

経営支援委員会

概要・目的 JASPA 参加組合会員各企業の経営に役に立つ情報を提供し、メリットを提供することを主たる目的とする。

活動内容 (1) 助成金獲得ノウハウ共有 (2) 資金繰りノウハウ共有
(3) 各士業(弁護士、医師、税理士など)協会との連携を強化し、中小企業経営に有意義な関係を作る。
(4) オフショア・ニアショア開設支援及び業者紹介 (5) 内部統制対策支援
(6) 事業継承相談 (7) その他の経営相談

メンバー 委員長：塚本 学(首都圏ソフトウェア協同組合)
副委員長：郡司 良男(首都圏ソフトウェア協同組合、埼玉ソフトウェア事業協同組合)
池田 孝博(北海道ソフトウェア事業協同組合)
堀 明子(埼玉ソフトウェア事業協同組合)
神崎 浩二(首都圏ソフトウェア協同組合)
堀越 正(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合)
青谷 哲也(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
近森 満(KT-NET)

ビジネス推進委員会

概要・目的 JASPA参加組合の各会員企業に対してビジネス事業を助力・促進することを目指し、商品・人材・案件・購買等のビジネスに関わる情報を会員と共有し、相互に利用できる機会や、その仕組みとノウハウを提供する。

活動内容 (1) JASPA 全国組合およびその組合の企業情報を WEB による一般公開
(2) 会員企業の製品・商材・ソリューションの共有とビジネスコラボレーション(毎月の全国組合運営会議で開催)
(3) 先端技術共有とサイバーセキュリティ教育(KDDI 総合研究所、IoT 塾 / 検定、ITキャリア推進協会など)
(4) JASPA フェア・展示会・セミナー企画と運営
(5) JASPA 組合企業によるビジネスマッチング会(通称、ビジネス市場)の開催
(6) JASPA 組合企業によるWEBでの営業情報の共有・公開と案件情報の一斉配信(通称、WEB版ビジネス市場)と運用
(7) 諸団体、他組合とのビジネス交流会、ビジネスマッチング会、アライアンス交流会の開催(年3～4回)

メンバー 委員長：石井 雄二(KT-NET)
副委員長：奥出 邦且(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
委員：波佐 満成(北海道ソフトウェア事業協同組合)
河原 健光(北海道ソフトウェア事業協同組合)
小山 守(宮城県ソフトウェア事業協同組合、電算ソフトウェア協同組合)
林 知之(埼玉ソフトウェア事業協同組合、KT-NET)
平川 学(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合)
飯嶋 隆人(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合)
安齋 輝雄(電算ソフトウェア協同組合)
伊集院 一人(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)

教育・人財委員会

概要・目的 JASPA 参加組合の会員企業に対して、社員教育を通じて人財育成に寄与する。また行政機関や他団体との連携を図り、わが国のITリテラシーやIT教育の質を向上するべく活動を行う。

活動内容 (1) JASPAオリジナルの教育カリキュラム構築 (2) セミナー、講習会、研修会の企画・開催
(3) 行政機関、他団体との情報連携

メンバー 委員長：太田 貴之(宮城県ソフトウェア事業協同組合、電算ソフトウェア協同組合)
副委員長：鈴木 勝博(首都圏ソフトウェア協同組合)
郡司 良男(首都圏ソフトウェア協同組合、埼玉ソフトウェア事業協同組合)
福原 智(首都圏ソフトウェア協同組合)
古賀 欣治(KT-NET)
近森 満(KT-NET)

社会貢献・福利厚生委員会

概要・目的

組合企業の一人一人が、すこやかに仕事ができる環境を提供することで、各組合の活性化を支援する。各地域に存在する組合のネットワークを駆使し、ITを通じて社会への貢献を目指す。

活動内容

- (1) 障害者雇用、障害者協会などへの仕事の依頼
(2) シニア技術者への雇用機会拡大、女性のワークバランスの見直しなどの強化
(3) JASPA 共済 (4) 災害時の募金活動 (5) その他、年金、健保、など福利厚生の強化

メンバー

委員長： 櫻井 多佳子(首都圏ソフトウェア協同組合)
副委員長： 高畑 道子(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
 太田 貴之(宮城県ソフトウェア事業協同組合、電算ソフトウェア協同組合)
 田井中 友香(首都圏ソフトウェア協同組合)

交流委員会

概要・目的

会員組合間の交流や会員組合傘下企業の経営者・社員間の交流、また政府・官公庁や他協会・海外企業との交流を通して、会員組合への情報提供や組合活動の活性化を支援する。

活動内容

- (1) 会員交流の企画、開催 (2) 政府・官公庁との交流 (3) 他協会との交流 (4) 海外企業・団体との交流

メンバー

委員長： 林 知之(埼玉ソフトウェア事業協同組合、KT-NET)
副委員長： 河原 健光(北海道ソフトウェア事業協同組合)
 丹野 尚弘(宮城県ソフトウェア事業協同組合)
 砂田 剛(埼玉ソフトウェア事業協同組合)
 通事 政章(首都圏ソフトウェア協同組合)
 小口 日出彦(グリーンIT協同組合)
 實石 貴久(静岡県ソフトウェア事業協同組合)
 奥出 邦且(ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)
 古賀 欣治(KT-NET)
 蕭 炯森(KT-NET)
 明神 浩(テレコムサービス協会)

広報委員会

概要・目的

- ① 連合会の意義、活動を広く内外に報じて認知、理解を計り社会、業界の発展に貢献する。
② 会員組合および加盟組織間の意思の疎通と情報の共有を促進し会員組織の事業の活性化を促す。
③ 広報媒体を活用して加盟会員の業務、ソリューションを広報し、会員企業の発展を支援する。

活動内容

- (1) 会報誌、WEB会報誌(HP)、メールニュースなどにより連合会の目的、活動を広報し認知度を上げ信頼を得て業界の発展に尽くす。
(2) 連合会の会員特典の認知や会員間の情報の共有によりコミュニケーションの促進と会員の発展に寄与する。
(3) 広報メディア(3媒体)による連合会、各専任委員会のイベント(賀詞交歓会、JASPA フェア、総会、セミナーなど)の開催告知や集客、広報。
(4) マスメディアを通じて連合会の活動をリリースして存在の認知と理解を図る。
(5) 連合会会員の特典(JASPA 共済、JAPICO・個人情報保護認証)の認知、販促広報。
(6) 加盟会員の企業情報およびソリューション情報の収集、データベース化を促進して会員間の協業や販促活動に活用する。

メンバー

委員長： 守田 徹(グリーンIT協同組合)
副委員長： 田井中友香(首都圏ソフトウェア協同組合)
委員： 山藤 武志(中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合)
 原口 一孝(KT-NET)

- ①経済産業省の認可団体である全国ソフトウェア協同組合連合会 (略称・JASPA) は経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課、情報産業課など官庁との情報交換や政策提言が出来る。
- ②当連合会が全国各地で開催する運営委員会 (月例) にて全国各地の業界情報、案件情報などの情報共有ができる。
- ③加盟組合、協賛団体に所属する企業間による情報交換、共同受注、共同開発などアライアンスを組むことができる。
- ④当連合会が主催する「海外視察ツアー、海外企業とのビジネス交流会」や「講演会、研修セミナー」などに参加できる。
- ⑤日本 IT 団体連盟 (約 5 0 0 0 社参加) の発起団体である JASPA に加入することにより日本 IT 団体連盟に加入できる。
- ⑥各専任委員会 (経営支援、ビジネス推進、教育・人材、社会貢献・福利厚生、交流、広報) が提供する企業経営に必要な様々なサービス・メニューを利用できる。

【経営支援】

連合会の各組合、加盟企業などの経営情報やネットワークを利用して会員企業への経営に役に立つ情報を提供し、それぞれの経営課題 (事業資金、営業、業務管理) などをサポートする。

- ①新銀行東京との JASPA 専用の融資制度を利用できる。
- ②AIU の「集団抜契約」による JASPA 専用の制度を利用できる。
- ③各大学との共同企業説明会の誘致を行う。
- ④ビジネスモデルコンテスト等の企画及び提携を行う。

【ビジネス推進】

ビジネス事業を助力・促進することを目指し、商品・人材・案件・購買等のビジネスに関わる情報を共有できる。また、市場への公開や PR、そして会員相互のビジネス発展のための機会を受けることができるとともにその仕組みを利用できる。

- ①JASPA フェア、HISCO IT 経営改革フォーラム、KT-NET フェスタなど全国組合のセミナーへ無料で参加できる。
- ②CSAJ/JASPA/JIET/IVIA 共催のビジネスマッチング会に無料で参加、出展ができる。(年 2 回)
- ③JASPA 会員企業情報の一般公開や共有の仕組みを無料で利用できる。
- ④JASPA 会員企業内での案件情報、人材募集の一斉配信や案件情報の受信 (WEB 版ビジネス市場) を無料で利用できる。
- ⑤会員の製品、商材、ソリューションを特別価格で利用できる。
- ⑥KDDI 総合研究所からの先端技術情報の提供やセミナーに参加できる。(年 2 ～ 3 回)
- ⑦IoT 技術習得のための入塾や IoT 検定試験、セキュリティエンジニア講座などを特別価格で受験できる。
- ⑧ICT ビジネスモデル発見&発表会へのエントリーや全国大会を傍聴参加できる。
- ⑨諸団体、他組合とのビジネス交流やビジネスマッチング会、アライアンス交流会への参加ができる。

【交流、渉外促進】

JASPA 内外との交流を図ることで参画組合各社に有用な情報を提供する。

- ①「若手社員交流会」などの社員交流会に参加できる。
- ②各地域で開催される運営委員会での情報交流会に参加できる。
- ③官公庁との情報交流会に参加できる。
- ④海外視察会 (日台ソフトウェア企業交流商談会、コードバリなど) に参加できる。

【教育・人材育成】

- ①JASPA の共同求人活動に参加することで、リーズナブルなコストで優秀な人材の確保ができる。

- *各学校 (帝京大学、東京電機大学、HAL 東京、電子専門学校) での合同企業説明会。
- *企業見学ツアーへの参加。
- *学生・求職者を対象にした「共同求人」イベントの企画・開催・運営。
- *厚生労働省をはじめとした各行政機関とのネットワーク構築。
- *ソーシャル・ネットワークを活用した求人活動の研究開発。

- ②共同研修活動に参加することで、リーズナブルなコストで優秀な人材の育成ができる。

- *JASPA 賀詞交歓会、JASPA フェア及び加盟団体が実施する研修セミナーへの参加。
- *組合内の協働関係を活かした人材育成・開発活動。
- *組合内共同研修活動。(内定者研修・新人研修・階層別研修・幹部社員研修、等々)
- *後継者育成・登用制度 (サクセッションプログラム) の研究開発・構築活動。
- *在宅ワーク・テレワーク・クラウドソーシング環境における人材育成・開発活動。

【社会貢献・福利厚生】

組合企業の福利厚生面での施策などの指導、支援。組合企業の一人一人が、すこやかに仕事ができる環境を提供することで、各組合の健全な発展をサポートする。さらに業界の代表的な団体として組合のネットワークを駆使し、IT を通じて社会への貢献を目指す。

- ①社会福祉法人「レンコンの会」にて、パソコン・小型家電などの破砕作業依頼に参画できる。
- ②シニア技術者への雇用機会の拡大、女性のワークバランスの見直しなどの強化を行う。
- ③メンタルヘルスケア (障害者雇用セミナーなどの開催) に参加できる。
- ④連合会独自の共済制度 (JASPA 共済) を利用できる。
- ⑤CSAJ、テレワーク協会と合同で開催するテレワークセミナーに参加できる。
- ⑥JASPA を通じて、災害時の募金活動に、参加できる。

【広報・宣伝】

会員は連合会の広報・広告媒体 (会報誌、Web 会報ホームページ) などを利用して所属組合や自社のソリューション広告、販促ができる。

会員組合および加盟組織間の意思疎通と情報の共有を促進し会員組織の事業の活性化を促す。

- ①加盟組合、企業の業務内容、技術、サービスを広報し認知度を上げ信頼を得て企業経営の活性化を図る。
- ②会報誌、Web 会報誌 (HP)、メールニュースにより会員企業の事業案内、ソフトウェア、案件獲得などに活用する。
- ③会報誌、WEB 会報 (HP)、メールニュースにより会員企業の開催するセミナーやイベントの告知、集客に利用する。
- ④連合会の広告媒体 (会報誌、WEB 会報誌) に広告掲載 (有料) することにより全国の各組合、加盟企業や関係団体、官公庁への広告・販促が期待できる。

連合会の活動実績

Achievements



賀詞交歓会及び特別講演会
毎年 1 月に、賀詞交歓会及び特別講演会を盛大に開催しています。



運営委員会及び懇親会
12 月を除く毎月、各会員組合主催により、全国各地で運営委員会（理事会）及び懇親会を開催しています。



懇親スポーツ大会
運営委員会の翌日に、参加者の懇親を目的としたスポーツ大会を開催しています。



JASPA フェア
毎年 5 月に、JASPA フェアを開催しています。毎回、ホットなテーマによる講演、会員各社の展示コーナーなど、内容も盛りだくさんです。



通常総会
毎年 5 月に、通常総会を開催しています。



海外交流
台湾で開催される日台ソフトウェア企業交流商談会など、積極的に海外イベントにも参加しています。



経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課 課長との座談会
毎年 10 月に、経済産業省 商務情報政策局 情報処理振興課長をお招きし、経済産業省の重点テーマ或いは、ソフトウェア産業が抱える諸問題について議論を交わしています。



各種社会貢献活動
災害時の募金活動、東北・熊本被災地訪問、障がい者支援を目的とした社会福祉団体への協力等、社会貢献活動にも積極的に取り組んでいます。

JASPA 会員組合

Member Organizations

北海道ソフトウェア事業協同組合
青森県ソフトウェア協同組合
宮城県ソフトウェア事業協同組合
埼玉ソフトウェア事業協同組合
首都圏ソフトウェア協同組合
グリーン IT 協同組合
ソフトウェア事業協同組合
電算ソフトウェア協同組合
中央イメージ・テクノロジー研究開発協同組合
YRP 情報産業協同組合
静岡県ソフトウェア事業協同組合
ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合
関西コンピュータ技術協同組合
広島県西部情報サービス協同組合
沖縄県ソフトウェア事業協同組合
(賛助会員)
KT-NET
一般社団法人全国地域情報産業団体連合会
一般社団法人テレコムサービス協会
一般社団法人日本個人情報管理協会
一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会
一般社団法人コンピュータソフトウェア協会
一般社団法人 IT キャリア推進協会
一般社団法人 IT 検証産業協会
一般社団法人日本ニアショア開発推進機構
特定非営利活動法人日本情報技術取引所

理事長 朝倉 幹雄
理事長 長内 睦郎
理事長 木村 裕
理事長 林 知之
理事長 安延 申
理事長 守田 徹
理事長 磯崎 澄
理事長 安齋 輝雄
理事長 山藤 武志
理事長 水野 堅市
理事長 成川 秀樹
理事長 川井 利通
理事長 角谷 幸夫
理事長 岩山 明憲
理事長 幸地 長秀

会長 滝嶋 康弘
会長 長谷川 亘
会長 鈴木 幸一
理事長 中島 洋
会長 安田 浩
会長 荻原 紀男
理事長 大和田博道
会長 藤井 洋一
理事長 小林 亮介
理事長 酒井 雅美



JASPA

■事務局所在地
〒108-0074 東京都港区高輪 2 丁目 15 番 8 号 グレイスビル泉岳寺前
TEL : 03-3473-9822 FAX : 03-5798-7589
E-mail : jaspajimu@jaspanet.or.jp
JASPA へのご入会・お問い合わせは、こちらへお願いします。

※都営地下鉄浅草線「泉岳寺駅」すぐ。



会社業務の効率化／情報の可視化を実現！

中小企業／IT企業向けトータル業務支援システム「B-THREE Cloud」

こんなお悩みはありませんか？

予算消化状況がリアルタイムで分からないので、営業損益の予測が立てづらい。



情報が紙面や記憶に頼っていたり、部署毎に管理されていて営業が確認できず要員確保の競争に勝てない。



B-THREEはスマートな業務管理を実現します

解決

予算・利益管理の最適化！

人材資源の最適管理！

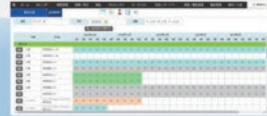
社内コミュニケーションUP！

中小企業／IT企業に最適なパッケージツールです。
SFA／CRM(営業・顧客・業務支援ツール)に加え、
予算管理・販売管理・案件管理を標準装備。

【画面イメージ】



実行予算管理 計画された予算に対して、日々の勤務時間より消化予算の進捗値を確認



要員計画 社員及びパートナー技術者の状況を管理し、将来の人材計画を「見える化」



この他にも、人材管理／ワークフロー／資産管理など多数機能を装備。

NSS 日本システムスタディ株式会社

(問い合わせ担当) 営業部 info2@nss-net.co.jp

<http://www.nss-net.co.jp>

TEL 092-262-4001

〒812-0037

福岡県博多区御供所町1-1

西鉄祇園ビル9F

FAX 092-262-4003

RJC 株式会社RJC

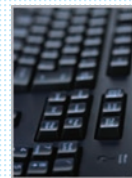
SES事業



ロボティクス事業



運用保守事業



ITコンサル・設計・構築



アプリケーション開発



〒177-0044

東京都練馬区上石神井2-27-2

株式会社RJC

03-5903-8119

MCEAグループはITを取り巻く様々な環境変化と人々の価値観の多様化に的確に応え、グループの総合力で豊かな社会の創造に努めて参ります。

フリーランス
ITエンジニア
ブランド化
プラットフォーム
事業

システム・Web
インテグレーション
事業

PE-BANK

株式会社PE-BANK
<https://pe-bank.co.jp/>

全てはIT個人事業主
のために

PS-Provider
Personal Information & Security

株式会社PS-Provider
<https://ps-provider.co.jp/>

人と社会を繋ぐ安全で
快適なソリューション
を提供

個人情報管理
ソリューション事業

**MCEA
HOLDINGS**

株式会社MCEAホールディングス
<https://mcea-hld.jp/>

ASNO
SYSTEM INC.

アスノシステム株式会社
<http://www.asno-sys.co.jp/>

明日を創造する企業

流通総研

株式会社 流通戦略総合研究所
<http://ryutsu21.com/>

経営課題の解決を、
最適な形で
プロデュース

ビジネス戦略
ソリューション事業

eビジネス事業



JASPA会員組合の紹介コーナー

NEWS

東西南北レポート

北は北海道、南は沖縄まで全国に広がる
JASPA会員をご紹介します



北海道ソフトウェア事業協同組合

理事長 朝倉 幹雄

我々会員企業は、北海道という地の利と豊富で優秀な人材を駆使して、お客様からの要求品質に答えて顧客満足度向上に最大限に貢献します。北の大地はソフトウェア開発アイランド。既存ビジネスの拡大と新規ビジネスの開拓に積極的に取り組んで郷土の発展と会員企業相互の成長を目指します。

会員企業	(株)アイティエス札幌事業所	(株)ヴァックスラボ
	SOC(株)	SOC総研(株)
	SOCパートナーズ(株)	(株)シーエスアイ
	システムデザイン開発(株)	日本SE(株)
	(株)パブリックリレーションズ	
	(株)メディア・マジック	

理事長 朝倉 幹雄

副理事長 佐藤光一、杉本恵昭

理事 菅野 満、里見英樹、石渡辰夫

監事 川崎貴紀、波佐満成 事務局長 越智清雄

住所 〒004-0015 札幌市厚別区下野幌テクノパーク1-1-12 SOC本社ビル内

TEL 011-899-6211 FAX 011-899-6212

URL <http://www.socnet.jp/hsc> E-mail h-softjikumi@hsc-net.jp

青森県ソフトウェア協同組合概要

このたび「青森県ソフトウェア協同組合」を設立し、コンピュータシステムの開発・作成等の共同受注による新規顧客、大口顧客の開拓を行うことで、組合員各社の収益アップを目指し、また、新しい技術・研究開発および教育・情報提供事業を行い、日々変化する業界の最新動向を組合員各社に提供し、正しい動向判断による競争力強化を図ることを目標といたします。

■青森県ソフトウェア協同組合員紹介

理事長	長内 睦郎	(マルマンコンピュータサービス株式会社 代表取締役)
		http://www.mcs-kk.co.jp/
副理事長	三浦 克之	(株式会社サン・コンピュータ 代表取締役)
		http://www.sancom.co.jp/
理事	鈴木 敏弘	(株式会社テラソリューション 代表取締役)
		http://www.terasol.co.jp/
監事	山口 勝久	(株式会社アイシーシーコンピューターシステム 取締役)
		http://www.webicc.co.jp/
	柳谷 章二	(青森情報システム株式会社 代表取締役)
		http://www.ais-inc.co.jp/
	三浦 武	(株式会社ブルーマウステクノロジー 代表取締役)
		http://www.ozupad.com/
	齋藤 勲	(株式会社パッション 代表取締役)
		http://www.passion-s.jp/

宮城県ソフトウェア事業協同組合

理事長 木村 裕

☆MISPA 事業内容☆

- 共同受注
- 共同販売
- 共同研究・開発
- 情報交流
- 各種イベント・行事等

組合活動の拡大に伴い 活動の多様性を目指します

宮城県は東北の他の県との比較では経済環境が恵まれています。IT 関連に目を転じても同じく恵まれています。震災復興の土木・建築事業の盛んなうちに、当組合は JASPA をはじめとし、他の団体との連携・協同事業への取り組みを推進し、新たに加入した組合員に魅力あるユニークな活動を通して、更なる組合員拡大に繋げます。又、こういった他の団体・地域との事業展開を基に、組合の活性化を図り、協同販売・協同開発を進めるビジネスチャンスを生み出し、実績を上げることを目指しております。

理事長 木村 裕 専務理事 柴田信幸 理事 太田貴之／青木雅秀／伊藤正則 監事 林知之

☆会員数は賛助会員、特別会員を含め13社です☆

住所：宮城県仙台市青葉区二日町2-1 キムラオフィスビル4階

TEL:022-261-0156 FAX:022-261-0165 E-MAIL:formmail@mispa.ecweb.jp

S.A.I.Tama

埼玉ソフトウェア事業協同組合

組合員相互・関連団体との連携を深め、
事業所間で交流が生まれるよう諸活動を行ってまいります。

代表理事 林 知之

アスノシステム(株)	(株)RJC	(株)MCEAホールディングス
埼玉田中電気(株)	(株)シアンス・アール	(株)東栄コンサルティング
東京システムハウス(株)	(株)PE-BANK	(株)ファーストステージ
(株)ユニケソフトウェアリサーチ	堀明子司法書士事務所	

(事務局) 108-0074東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺前 電話:03-3473-9822



中央イメージテクノロジー研究開発協同組合

〒110-0016 東京都台東区台東1-38-9イトーピア清洲橋通ビル3F

URL <http://www.jitrad.com> TEL 03-5812-8380

理事長 山藤 武志

当組合の特徴は、確かな技術力のみならず、バラエティかつ個性的な会社により構成されているところにあります。

OA分野における通信、インターネットを利用したシステム構築から制御系分野、ファシリティサービス、画像処理システム開発、さらにはゲーム、スマートフォンやタブレット向けのコンテンツ制作、福祉関連事業など、それぞれが技術の特化と幅広い分野への成長を心がけ、良質なソフトウェアプロダクトの提供を中心に事業展開しております。

— 組合員 —

- ・(株)アーベルソフト
- ・(株)エヌ・アイ・エス
- ・(株)マイクロ・テクニカ
- ・(株)ラデックス
- ・(株)システム ツー・ワン
- ・(株)スティンク
- ・(株)ユーソフト
- ・(株)新華コンサルティング
- ・ニチカイ(株)

- ・(株)マトリックス
- ・(株)メディア・マジック
- ・ホットウェーブ(株)
- ・(株)システムフォース
- ・(株)クリエイティブエンジニアリング
- ・中央コンピューターサービス(株)
- ・(株)LSC
- ・T2メディアパル(有)

— 顧問 —

- ・桜木町法律事務所
- ・大村労務法制事務所
- ・山下税理士事務所
- ・発明プロテクト協会
- ・近藤司法書士事務所
- ・大連穀信グループ

首都圏ソフトウェア協同組合

ダイレクト商談会で広がる METSAの共同受注ネットワーク

活発な情報交換の中から組合員のビジネス機会を創出します。

当組合では (1)毎週水曜開催ダイレクト商談会 (2)官公需の共同受注 (3)共同求人研修事業 (4)研究会 (5)毎月の協議会・交流会、等を通じて組合員の受注機会の増進を図り、豊かなソフトウェア産業を実現します。

代表理事 安延 申／理事 齋藤 光仁／小池 保典／福原 智／田井中 友香／石川 圭相／監事 樽屋 有美子

住所：〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番地8号 グレイスビル泉岳寺前

TEL:03-3473-9822 FAX:03-3446-4180 E-MAIL:metsa_info@jaspanet.or.jp

URL:<http://www.syutoken.or.jp/>



経営課題を解決する グリーンITのコンサルティングサービス

①ITシステムの最適化 ②EC（電子商取引）の活用 ③ロジスティックシステムの共有とアウトソーシング化
④企業統合、M&A ⑤人材の再生、再活用と最適な流動化 ⑥人材の教育、研修 ⑦マーケティング戦略
などの経営診断を通し問題解決のためのアドバイス、セミナーおよびコンサルティング等により企業の発展をサポート
します。なんなりとご相談ください。

グリーンIT協同組合

所在地 〒108-0074 東京都港区高輪 2-15-8 グレイスビル泉岳寺前7F TEL 03-3473-9774 FAX 03-3473-9825

組合員 理事長 守田 徹／理事 岡積正夫／理事 藤野宣明／理事 小口日出彦／監事 粕谷義和／顧問 北島一雄
伊藤哲男／斉藤貴加年／鈴木陽一／事務局 小倉治雄

URL <http://www.green-it.or.jp>



ソフトウェア事業協同組合

理事長 磯崎 澄

"クラウドサービスソリューション"と "ポストSIビジネスソリューション"の 協同提供を

お客様の優良ビジネスパートナーとして
クラウド時代／ポストSIビジネス時代に相応しい
高付加価値サービスを研究会やセミナーで検討し
協同提供を推進してまいります



(株) ユー・エス・イー
(株) ユー・エス・イー ビジネスソリューション
(株) ユー・エス・イー コート
(株) アイ・ジー・スクウェア

Fullon(株)
ミキシシステム(株)
サイバーグリーンシステム(有)
北陸電話工事(株) 東京支店



東京都渋谷区恵比寿3-1-7 タマビル恵比寿7F tel 03-5449-2761 fax 03-5475-8679 URL <http://www.sba-jaspa.jp>

明るい未来を創る CSA

インドコム
Systems Pvt. Ltd.
(株) エー・アール・シー
(株) エムツーエム
カスタムシステム(株)
京通(株)
(株) スマック
(株) セル
日本システムクリエイティブ(株)
(株) 日本システムコンサルタント
(株) 日本ソフトウェアテクノロジー
(株) 日本テクノウェア
(株) ハツコーエレクトロニクス
北斗ビジネスソフト(株)



電算ソフトウェア協同組合

理事長 安齋 輝雄

(事務局) 東京都港区芝3-3-13 芝服部ビル TEL・FAX 03-3451-5055

YRP情報産業協同組合

当組合は、移動無線通信・情報通信技術を中心とした研究開発拠点であるYRP(横須賀リサーチパーク)の開設に先立つ1997年4月に設立されました。①共同受注、②技術者の育成支援、③経営改善に関する情報提供、④組合員の新たな事業分野への進出の円滑化に向けた新技術の研究開発・需要開拓の4つを柱に、20年を越えて活動し、現在は神奈川県、東京都の17社の企業がメンバーです。

共同受注を通して組合員のビジネス機会を増強し、実績を積み重ねていくことで、組合員及び組合の価値を高めていきます。地元横須賀市などとの連携を密にし、地域活性化への貢献、及び組合員の技術力・人間力をアップする研修を企画し、人材育成を支援しています。

<組合員>

サイカヤ・システム・テクノロジー(株)

(株)ステップ

(株)ティー・エム・シー

(株)トヨシステムエンジニアリング

(株)日本インテリジェントビジネス

ProGATE(株)

(株)美装

横須賀ソフトウェア(株)

(株)北斗

(株)キャリエ・レゾ

テクニカルジャパン(株)

(株)データプロセスサービス

(株)ビジネスサポート

(株)横浜エンジニアリングサイエンス

シンポー情報システム(株)

ノックスデータ(株)

(株)ステップホールディングス

代表理事: 水野堅市

副理事長: 仲西秀基(常勤) / 佐藤崇雄

理事: 上野昌之 / 高橋誠 / 高橋栄一

監事: 千葉直樹 顧問: 福嶋義信

事務局 〒239-0847

横須賀市光の丘8-3 YRPベンチャー棟420

TEL: 046-847-5490 FAX: 046-847-5492

URL: <http://www.yrp-iics.or.jp>



静岡県ソフトウェア事業協同組合

理事長 成川 秀樹

<http://ssanet.jp>

安心・信頼と継続のための県内ネットワーク

- ◆ 常に最先端技術情報を共有
- ◆ 各組合企業体制の強化を図る
- ◆ 企業開発ソフトのシステム保守問題お手伝い
- ◆ 組合員の取引範囲拡張を図る
- ◆ 情報発信ステーションの役目を果たす
- ◆ JASPAとのジョイント

<組合企業29社> 50音順

(株)アイズ・ソフトウェア

(株)アイティエス

(株)ITSコア

(有)アイ・プランニング

(株)アイ・ブロード

(株)アクシス

(株)アドバンスシステムソフト

(株)アムロ

FKC(株)

(株)エムシーキューブ

(株)ガーデンソフト

(株)建設システム

(株)コサウェル

(株)システムオリジン

(株)ジープロシューマーズ

(株)スギナシステム

(株)ステップコム

(株)第一システムプロダクト

(株)ティー・ジェイエス

(株)電算インフォメーション

(株)東報

TOSEI(株)

(株)PE-BANK

(株)富士フォーチュン

(株)ユニテック

(株)ユピテルプラス

(株)ラ・ドゥ

ランアンドケントス(株)

(株)ワークノアート

【事務局】 〒422-8055 静岡県静岡市駿河区寿町6番34号 (株)電算インフォメーション内

TEL: 054-289-2210 FAX: 054-289-2209 E-Mail: ssa-info@ssanet.jp

HISCO ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合

<http://www.hisco.jp/>

理事長 川井利通 (株) イン ネット 代表取締役
副理事長・九州支部長 伊集院一人 (株) シス テック 福 岡 代表取締役
理事・関西支部長 田中秀範 (株) テ ク ノ ア イ 代表取締役
理事・関東支部長 伊藤整一 (株) 網 屋 代表取締役社長
理事 高畑道子 (株) F M . B e e 代表取締役社長
理事 宮井 茂 (株) サミットシステムサービス 執行役員
理事 北村雄吾 ソフトキューブ (株) 代表取締役
理事 奥出邦旦 (株) 日本ビュアシステム 代表取締役
理事 成澤 孝 (株) クリエイション 代表取締役

理事 加来信夫 (株) アドコムソフト 代表取締役
理事 岡万里子 (株) エル・エス・アイ 代表取締役
理事 青谷哲也 日本システムスタディ(株) 代表取締役社長
理事 鈴木良雄 エ レ ク ス (株) 代表取締役社長
理事 大森謙治 イ ナ ソ ウ (株) 代表取締役社長
理事 阪本浩朗 創 研 情 報 (株) 代表取締役社長
監事 足立順一 アスノシステム(株) 相 談 役
顧問 小幡忠信 アルカディア・システムズ(株) 代表取締役社長

関西支部・九州支部・関東支部

緩やかな連合で活動しています。



会員募集中

【九州支部】	【関西支部】	【関東支部】	
(株)アドコムソフト (株)エル・エス・アイ (株)システック福岡 (株)シフト 日本システムスタディ(株) (株)ユー・エス・イー (株)アイライフ (準会員) エモーションウェア(株) (準会員) 九州 NS ソリューションズ(株) (準会員) 財九州先端科学技術研究所 (準会員)	アクセス(株) (株)アスタリス アスノシステム(株) アルカディア・システムズ(株) (株)アルメディア・ネットワーク (株)インネット (株)F.M. Bee (株)キャップインフォ (株)クリエイション (株)クリオシステム ケイプラス(株) (株)サミットシステムサービス (株)シーシェルコーポレーション センターフィールド(株)	ソフトキューブ(株) 大化物流開発合同会社 (株)チェルト (株)テクノアイ 日本システムマネージメント(株) (株)日本ビュアシステム (株)ハナテックコンピュータシステム ハンネットワーク(株) フルタニ産業(株) メモリーハウス(株) ネクストウェア(株) (賛助会員)	(株)網屋 アンドールシステムサポート(株) イナソウ(株) (株)インフォグラム SG コンサルティング事務所 エレクス(株) オデッセイヒューマンシステム(株) (株)コミュニケーション開発 創研情報(株) (株)プロモート (株)MIRAIt Service Design (有)ゆうコム (株)ワールドスカイ (株)イー・アール・シー (準会員)

経済産業省 認可第517号



関西コンピュータ技術協同組合

代表理事 角谷 幸夫

理 事 高市啓二郎

理 事 藤井 広樹

理 事 米原 眞和

監 事 小畑 智尚

組合員77名

〒541-0052 大阪府大阪市中央区安土町3丁目4番5号 本丸田ビル3階

電話 06-6263-6613 FAX 06-6263-6614

<https://www.kansai-cea.or.jp>

<営 業 地 区> 大阪府、兵庫県、京都府、滋賀県、奈良県、三重県、和歌山県、東京都、
埼玉県、千葉県、神奈川県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県の区域

<事 業 内 容> ・組合員の行うソフトウェア開発の共同受注 ・組合員のためにする共同宣伝
・組合員の事業に関する経営及び技術の改善向上又は組合事業に関する知識の普及を図るための教育及び情報の提供
・組合員の福利厚生に関する事業 ・前各号の事業に附帯する事業



沖縄県ソフトウェア事業協同組合

代表理事 幸地 長秀

21世紀型ソフトウェア開発コア集団！

開発・育成・発展のために・・・

住所：沖縄県那覇市久茂地1丁目2番20号
電話：098-951-1844
URL：<http://www.softokinawa.net/>
組合員数：15会員 設立：昭和63年12月

■理事

代表理事	株国建システム	幸地 長秀
副理事	株VLC	新城 浩一郎
副理事	(有)グローコミュニケーション	前里 耕司
専務理事	株サウス・ウインド・システム	仲井間 宗邦
理事	株Okicom	小渡 玠
理事	株おきぎんエス・ピー・オー	小那覇 勉
理事	株ダイワ・メディカル・システム	大西 和男
理事	(有)コンピュータリサーチ	金城 太
■監事		
監事	(有)ノアクラフト	金城 忠

■事業内容

- ・共同受注
- ・人材育成
- ・会員交流
- ・広報

会員交流を主軸に今後も、沖縄県ならびに関係団体と協調・連携をとりながら沖縄県のソフトウェア・IT産業の発展と振興に貢献することを目指していきます。

KT-NET

Knowledge & Technology  Information Network

先進技術をビジネス化するプラットフォーム

KT-NETは株式会社KDDI総合研究所の協力を得て東京システムハウスが主催しています。
業種問わずイノベーター企業を対象としたビジネスコラボレーション集団です。

<活動内容>

- 各種勉強会・分科会
Face to Faceで情報交換・発信、人脈作りを行うアナログ交流の場、分科会ではIoTをキーワードにした共同提案やプロトタイピングを実践。
- KT-NETフェスタ
IoT×現場課題のテーマで、各界のトップランナーを招いて事例やビジネスモデルを探る大規模セミナー。
- IT大喜利(飲み会つきアイデアソン)
毎回、ITを利用する立場のゲストが現場課題を提示。受講者はフレームワークに従いチーム別にアイデアを練り、そのまま懇親会でプレゼンテーション。
- アジアソフトウェアビジネス研究会
台湾の情報サービス産業協会(CISA)と連携して会員の皆様の海外進出の手助けを目的とした研究会。

ITを利用する立場の方、歓迎！
現場課題の提供や会員の製品サービスを現場検証いただけるITを利用する側の会社・団体様を賛助会員(年会費無料)として大募集中です。

KT-NET運営委員会 会長 滝嶋 康弘(株式会社KDDI総合研究所)
委員長 林 知之(東京システムハウス株式会社)

会員数：83社(2018年11月現在)
連絡先：東京システムハウス株式会社 KT-NET 事務局 原口
TEL：03-3493-5761 FAX：03-3493-5188 E-MAIL：kt-net@tsh-world.co.jp
URL：<http://www.kt-net.jp/>

JASPAからのご案内

事業発展のために是非ともご活用ください

JASPA WEB版

「ビジネス市場」

事業拡大

業績アップ

人材・技術の有効活用

web版ビジネス市場で、お悩み・お困り事を解決！

JASPA会員なら無料で利用できます。

web 版ビジネス市場 3つのメリット

企業PR

JASPAサイトにて、会員登録をしていただけます。

登録した情報は、JASPAのWebサイトに掲載されます。JASPAサイトを企業PRとして使えます。

お仕事の獲得

JASPAサイトの得意仕事の項目にチェックすることで、他会員様の案件情報をメールで受け取ることができます。

興味のある仕事が見つければ、ダイレクトに会員様に連絡できます。

パートナー募集

急ぎの時でも、最大JASPAの全国会員企業にパートナー募集の一斉メールを配信できます。

※ただし、得意仕事欄にチェックが付いている企業様だけに配信します。

※メールは一日1回までの予定。

サービス概要

- JASPA所属の会員企業（全国組合企業一覧）が閲覧できる。
- 各社、事業内容、ソリューション、製品などをサイト内でアピールが可能。
- 「欲しい仕事」、「仕事を出したい」をJASPA会員内で共有できる！

仕事を出したい

我社の仕事（〇〇業務）を得意とする会社はないかな？

「会社を探す」

または

サイトから案件を配信して手伝ってくれる会社を探してみようかな？

「案件を配信」

さっそく、JASPA会員企業から連絡がきたぞ！！
JASPA会員だから安心だ。
直接会って打ち合わせしよう。

各組合の事務局

- ・ 会員企業の登録、退会管理
 - ・ ログイン/パスワードの配布管理
- <http://www.jaspanet.or.jp/XXXX>

JASPA

ビジネスの成立

JASPAだから安心

仕事が欲しい

我社はこんな仕事・ソリューションを得意としています。※1

「自社をアピール」

JASPA企業から案件メールがきたぞ！
まずは詳細を聞いてみよう。

こんなに簡単に仕事が見つかった。
あとはしっかり仕事しよう。

※1 当社は、自社のソリューション、商材、業務、保有技術などをPRする仕組みです。個々の人材をPRする仕組みではありません。

※2 案件メールの受け取りは、欲しい業種、分野、技術など、フィルタリング設定が可能です。

※3 配信案件の企業（営業担当者）へ連絡し、直接当事者間で商談を進めて下さい。

※4 自組合内の企業の登録やID登録などの管理は、各組合の事務局で管理して頂く必要があります。（現状は1企業1ログインID）

WEB版「ビジネス市場」のご利用方法

ご利用方法

(1) JASPAホームページ右横の「WEB版ビジネス市場」アイコンをクリック!!

<https://www.jaspanet.or.jp/>



(2) ビジネス市場トップページ



① 会社PRを登録する

「会員専用ページへ」をクリック ➡ 「ログイン／パスワード」を入力 ➡ 「会員情報の変更」へ
会員情報の変更画面より、会社プロフィール、得意な仕事・商材・スキル・保有資格などのPR情報と、
営業担当者、連絡先電話、メールアドレス、案件を受けたいカテゴリなどを設定して下さい。

② 相談できる会社を探す

「相談できる企業を探す」をクリック ➡ 業種、事業形態、地域、フリーワードなどを指定し、探したい会社情報を検索
➡ 見つければ、「問い合わせフォーム」から直接企業へコンタクト

③ 案件を一斉配信する

「案件情報の送信」をクリック ➡ 案件名、お仕事概要、作業場所、必要スキル、作業条件などを入力する
➡ 「一斉配信する」ボタンをクリックすると、全国のJASPA会員企業へメールが一斉配信されます。✉
➡ あとは、お仕事を受けて頂ける企業様から営業担当者様へ直接連絡がきます。

詳細の操作方法は、サイトのご利用マニュアルを参照して下さい。

ご利用にあたっての留意事項

- (1) ログインID／パスワードは自所属組合の事務局より受け取ることができます。(1社1ログインID)
- (2) 会社PR情報は、具体的スキル・技術の入力と常に最新に更新する事でより効果的かつ多くの方から検索して頂けます。
- (3) 案件情報の送信は、顧客機密情報となるものなど、送信者の責任において配信して頂けますようお願いいたします。
- (4) 一度送信した案件情報メールは、削除、または変更できませんのでご注意ください。
- (5) 受けたいお仕事を見つけた場合は、お問い合わせフォームから送信者と直接コンタクトし商談を進めて下さい。
- (6) 受けたいお仕事メールは、「会員情報の変更」画面よりカテゴリを設定することができますので有効にご利用下さい。

問合せ

全国ソフトウェア協同組合連合会 (JASPA) 事務局：鷹羽

〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番8号 グレイスビル泉岳寺前

E-mail: jaspajimu@jaspanet.or.jp TEL: 03-3473-9822(代表) / FAX: 03-5798-7589

JASPA共済に加入しませんか



会員なら
どなたでも
加入できます

月**500**円で
300万円の
補填給付金
(死亡退職)

+1,000円で
がん救済

がん診断給付金 100万円
がん入院日額1万円
がん手術給付金
10万円～40万円

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)は、構成組合員企業の福利厚生充実を図ることを目的に共済事業をおこなっております。死亡退職を補填する「生命共済」、上乗せ共済の「がん共済」があります。

生命共済

- 対象者は会員企業の全役員、全従業員で15歳以上60歳までの方(継続加入は65歳まで)
- ご加入の際は、会員企業単位での全員加入が必要となります。
- 1口500円/月の会費で、300万円の補填給付金を受けることができます。
加入口数は1口または2口とします。
- 会費は会員企業の全額負担で、全額損金算入できます。
- 配当金は所属組合及び会員企業へお支払いさせていただきます。

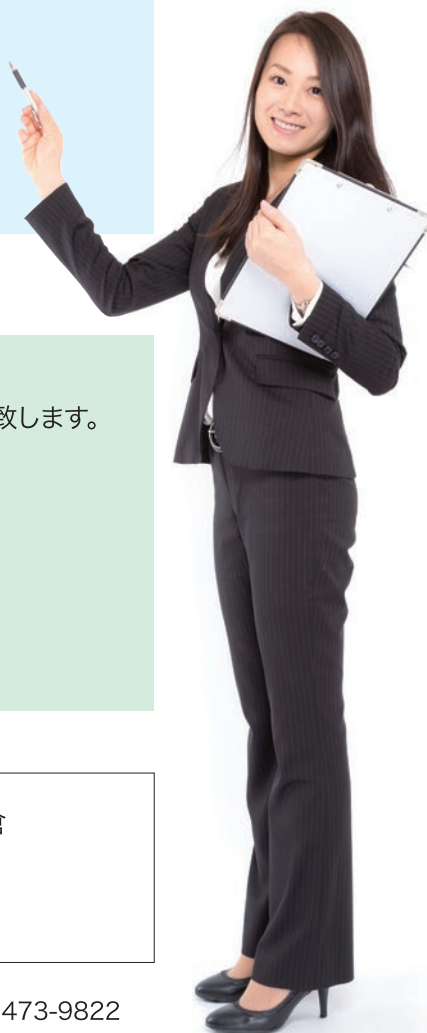
がん共済

- がん共済は共済(生命共済)の上乗せの共済です。
従って共済金(生命共済)を脱退した場合にはがん共済も自動的に脱退したものと致します。
- 対象者は既に共済(死亡退職にかかる損失補填)に加入済の会員企業。
- 1口1000円/月の会費で、100万円のがん診断給付金、がん入院日額1万円、がん手術給付金10万円～40万円の保障を受けることができます。
加入口数は1口までとします。
- 会費は会員企業の全額負担で、全額損金算入できます。
- 配当金は所属組合及び会員企業へお支払いさせていただきます。

問合せ

全国ソフトウェア協同組合連合会(JASPA)共済 事務局 担当:小倉

〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番8号 グレイスビル泉岳寺前



NEW LEADERS

ニューリーダーズ
vol.19

本シリーズでは会員組合の企業の中から最近、事業継承された後継者の方、新たに起業された方を紹介します。
第19回は、株式会社サートプロの近森様に伺いました。

株式会社サートプロ代表の近森満と申します。JASPAでは22世紀フォーラムに参加させて頂き、教育・人材委員会と経営支援委員会のメンバーとして活動をさせて頂いています。当初、コンピュータソフトウェア協会の会員として参加させて頂きましたが、22世紀フォーラムの活動がとても活発に行われていることに驚きました。

JASPAにおきまして弊社では2つの委員会に参加していることもあり、教育・人材委員会では、人材育成と教育支援に関する取り組みを、また経営支援委員会ではJASPAに参加する企業に有益な情報が提供できるよう取り組みを行っております。

最近では弊社がIoTやAIの研修講座などを中心としたIT人材育成企業であることから、IoT検定試験対策講座2日間コースの提供を行い、2日間のべ60名以上の方に受講頂きました。

私が事務局長を務めておりますIoT検定制度委員会は2015年末、日本政府のIoT推進を受けて、2016年2月に立ち上がりました。日本におけるIoTは、サービスや技術というレベルでは先行できるものも多くあると思いますが、ビジネスモデルでは世界に伍していくにはまだまだの状況でした。

日本がIoTで世界をリードするためには他国よりも人材育成に力を入れなければならない。そのために一定以上のレベルに引き上げる教育制度とスキルの可視化となる認定制度が必要で、IoTにかかわるすべての人が「IoTがなんなのか」ということを語れるような状態にすべく、JASPA前会長の中島さんをリーダーとして、委員会をはじめました。メンバーにはIoTを知る有識者に参加頂きました。またアドバイザーボードも設け、元Google副社長の村上憲郎さん、他にも業界関係者に参加してもらい知見を頂いています。

委員会の取り組みとしては

- ・IoTスキルの体系化
- ・IoT検定の開発・実施
- ・IoT教育の普及・啓蒙

の3つを主に取り組んでおり、IoT社会に貢献しています。

株式会社サートプロ

代表取締役CEO 近森 満様



IoT検定制度とは、一言で言えば、IoTの技術やスキルを持った専門家です。

日本におけるIoTの現状は、利用者は多いものの、IoTコーディネータ、IoTマーケッターやIoTコンサルタントはまだまだ充足していません。

人材不足、人材不足と良く言われますが、その原因は「人材不足ではなく教育不足」にあります。

そこで、IoT検定を設けることによって、教育不足の問題を解決させようとしています。

IoT検定によってスキルの可視化が行われ、またIoT人材の顕在化をすることができます。

技術者でも実はマイコンやデバイスに詳しくても、IoTについては素人と言いつける人がなんと多いことか。

IoT検定を受けて合格認定されることで、堂々とIoTについて語って欲しいし、お仕事に活かしてほしいと思います。

2020年に向け政府もIoT・AI・ビッグデータ等の活用について言及しています。IT業界、ソフトウェア会社が果たす役割は非常に大きなものになっていて、まさに人(技術をもったエンジニアや会社)が活躍してこそだと思っています。IoT教育やIoT検定はその一助になると信じています。そのためにはIoT社会のインフラとして活躍できる方々と一緒に業界を盛り上げていくことが重要であり、JASPAの活動を通じて、IoT社会に貢献していきたいと考えております。

株式会社サートプロ

住所: 〒151-0053 東京都渋谷区代々木1-55-2 大和ビル5階

URL: <http://www.certpro.jp/>

会社設立: 2006年3月3日

事業内容: 資格検定事業、人材育成・教育支援事業、
コンサルティング事業、メンタルヘルスケア事業



ビジネスの発展を
コンサルティング集団の
グリーンITが支援します。

ITシステム最適化

ウェブマーケティング

物流効率化

ECサイト構築

人材教育/研修

企業統合/M&A

財務戦略

福利厚生サポート

グリーンIT協同組合 <http://www.green-it.or.jp/>

※無料相談受付中

〒108-0074 東京都港区高輪2-15-8 グレイスビル泉岳寺7F TEL 03-3473-9774 FAX 03-3473-9825

NEW LEADERS

ニューリーダーズ
vol.20

本シリーズでは会員組合の企業の中から最近、事業継承された後継者の方、新たに起業された方を紹介します。第20回は、北斗ビジネスソフト株式会社の安齋様に伺いました。

電算ソフトウェア協同組合(CSA)に所属しております、北斗ビジネスソフト株式会社の安齋です。JASPAの皆様にはいつも大変お世話になっております。

また、22世紀フォーラムではビジネス委員会に参加させていただいております。なかなか委員会に参加できず、ご迷惑をおかけしてはいますが今後とも微力ながら協力させていただきたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

さて、弊社は1987年(昭和62年)創業以来S&S(サービス&サポート)をスローガンにソフトウェア開発を中心に事業をスタート致しました。その後ヘルプデスク事業、ソリューション事業、展開サポート事業、オペレーション事業と多角的に事業を拡大してまいりました。その中で、サービス力とサポート力に加え日々変わりゆく変化に迅速に対応するため、スピード力も加え3S力を新たなスローガンに掲げ、日々お客様を中心にお客様目線でより良いIT環境を提供できるよう社員一同取り組んでおりました。その甲斐も在り多くの人たちに支えられ、おかげさまで31期を迎えることが出来ました。

北斗ビジネスソフト株式会社

代表取締役社長 安齋 輝雄様



また、電算ソフトウェア協同組合も今年で42年目を迎え恐れ多くも3年前に世代交代を理由に理事長に就任することになりました。歴代の理事の方々の知識、経験を学び新しい取り組みとして22世紀フォーラムを参考に定期的に「次世代交流会」を実施し組合内の若手交流の場を広げて参りました。今後もJASPAのイベントを参考に組合活動に役立てていきたいと思っておりますので何卒ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

北斗ビジネスソフト株式会社

住所:〒105-0014 東京都港区芝3丁目3番13号 芝服部ビル

URL: <http://www.hokuto-bs.co.jp/>

会社設立:1987年8月31日

事業内容:ソフトウェアの開発・コンサルタント、コールセンターシステムの構築運用、
情報処理機器の設備サービス、ネットワークサポートサービス、
ヘルプデスクサービス、問い合わせサービス、
コンピューター関連の人材派遣

HISCO ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合

会員募集中!

<http://www.hisco.jp/>

関西支部・九州支部・関東支部

今年も猪っとずつ猛進。

本部事務局：大阪府大阪市中央区南久宝寺町 2-1-2 竹田ビル 5 階
株式会社インネット内
事務局：06-6263-2330 e-mail: info@hisco.jp

NEW LEADERS

ニューリーダーズ
vol.21

本シリーズでは会員組合の企業の中から最近、事業継承された後継者の方、新たに起業された方を紹介します。
第21回は、株式会社日本ピュアシステムの奥出様と伺いました。

ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 (HISCO) 関西支部所属、株式会社日本ピュアシステムの奥出邦且です。

JASPAの皆様にはいつも大変お世話になっております。22世紀フォーラムでは今年度よりビジネス推進委員会の副委員長及び、交流委員会の一員として活動させて頂いておりますが、まだまだ関西がメインのため、あまり参加できず申し訳ありません。

弊社は1991年1月8日に設立し今期で28期になります。私は設立から半年遅れで入社し、お客様先でPG・SEを経験して2006年1月、代表取締役役に就任しました。40歳で突然の代表就任のため何から手をつければ良いのかもわからず、そんな時、各組合の諸先輩方にお声掛け頂き、ご指導頂いたことで今があると本当に感謝しております。代表就任後の12年間は、本当にあっという間でした。その間、リーマンショック等、大変厳しい時代がありましたが、そんな時こそ社員一丸となり創意工夫し一体感も生まれ会社の成長にも繋がったのだと思います。「皆様に最高の笑顔と喜びと感動を与えること」を理念とし、生保業界を中心に金融関連や自治体向け等、お客様に信頼されるパートナーとして各種システムの提案から開発・保守及びインフラ・ネットワーク構築・運用までトータルでサポートしております。

弊社のモットーであります「人に優しく感謝の気持ちを忘れずに」「仕事は楽しく(楽しくなるような工夫と行動をする)」「人のせい(責任)にしない」を素直に共感し実践できる良い人材の育成を最優先とし、社員の人間力の向上に努めることが皆様から信頼され、お客様及び、社会へ貢献できるものと考えております。もちろん人間力

株式会社日本ピュアシステム

代表取締役 奥出 邦且様



だけではなく技術力の向上にも力を入れておりますが、まずは人間力があっての技術力という方針です。また健康面も非常に大事だと思っております。

健康でなければ良い仕事はできません。弊社の売りは、社員の明るさ、元気さ、健康であることです。体育会系の社員が多いこともありますが、社内での部活動、レクリエーション、飲み会？、趣味等を活かして身体を動かすことを推奨しています。

やはり健康第一ですね。皆様も健康で楽しい生活を送れますようご自愛ください。

また、HISCO関西支部の主要メンバーで立ち上げました「Rubyビジネス推進協議会(Ruby協)」にも参加させて頂き、Rubyビジネス、技術に力を入れ、Ruby on Railsを使った様々なWebシステム開発にも携わっています。Ruby協の関東拠点も今後推進して行くことになりました。ご興味のある方はご連絡をお待ちしております。

これからも感謝の気持ちを忘れず、JASPAの皆様とも更に交流を深めより良い活動ができればと思っております。引き続きご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

株式会社日本ピュアシステム
住所: 〒541-0057 大阪市中央区北久宝寺町3-5-12
御堂筋本町アーバンビル
TEL: 06-6210-2220 FAX: 06-6210-2221
URL: <http://www.pure-system.com>
会社設立: 1991年1月8日
事業所: 大阪本社、東京営業所
事業内容: アプリケーションシステムの設計・開発・運用、
サーバ・ネットワークの設計・構築・運用、パッケージソフトの設計・開発・導入・運用

沖縄県ソフトウェア事業協同組合 21世紀型ソフトウェア開発コア集団

代表理事 幸地 長秀

沖縄県那覇市久茂地1丁目2番地20号
TEL: 098-951-1844
URL: <http://www.softokinawa.net/>

㈱ Okicom
㈱ おきぎんエス・ピー・オー
㈱ ソフトウェア・リンク
(有) グローコミュニケーション
㈱ ダイワ・メディカル・システム
(有) コンピュータリサーチ
㈱ サウス・ウインド・システム
小渡 玠
小那覇 勉
松長 健照
前里 耕司
大西 和男
金城 太
仲井間 宗邦

㈱ 国建システム
(有) ノアクラフト
㈱ アイエヌジーアットマーク沖縄
㈱ システック沖縄
㈱ ソフトウェアファクトリー
㈱ VLC
㈱ イマジン
(有) アラタ
幸地 長秀
金城 忠
仲宗根 功
赤嶺 宏
比屋根 修
新城 浩一郎
佐久川 進
新田 純也

2018年1月18日

東京都港区「グランドプリンスホテル高輪 プリンスルーム」にて、賀詞交歓会 開催

恒例のJASPA賀詞交歓会、特別記念イベント・講演会が開催され、来賓50名を含む合計270名の皆さまが出席した。

●特別記念イベント/パネルディスカッション

テーマ:経済産業省のIT戦略、及び、人材育成・教育について

パネラー:経済産業省 商務情報政策局

情報技術利用促進課 課長 中野 剛志氏

東洋経済オンライン 編集長 山田 俊浩氏

国際大学 GLOCOM 主幹研究員 砂田 薫氏

一般社団法人イトナブ石巻 代表理事 古山隆幸氏

コーディネーター:全国ソフトウェア協同組合連合会 会長 安延 申
経済産業省中野課長より、経済産業省のIT施策についてお話しいただき、それを受けて安延会長のコーディネートのもと、討論を行った。IT人材の育成施策においては『部活動』という面白いアイディアも提示され、人材不足の昨今、おおいに参考になったのではないかな。

●賀詞交歓会

林知之賀詞交歓会実行委員長、JASPA安延申会長の挨拶で始まり、お忙しい中、駆け付けていただいた野田聖子総務大臣、JPEGやMPEGの国際規格を統一し、米国民生技術協会の殿堂入りを果たした東京電機大学の安田浩学長など、多くのご来賓にも出席いただいた。アトラクションは、今回の賀詞交歓会のために特別に編成された華やかなクインテット、展示会場では、市川レンコンの会によるパソコンの破碎デモなど、さまざまなイベントで賀詞交歓会を盛り上げた。



2018年1月18日、19日

東京都港区「全国ソフトウェア協同組合連合会 会議室」にて、事務局長会議、運営委員会 開催

(幹事組合:22世紀フォーラム)

●事務局長会議 出席者17名

- 1.今後、JASPAに期待する事、要望事項
- 2.JASPA共済の活用方法をご存じでしょうか
- 3.JASPAをさらに充実した組織(発展、拡大、活性化)するには

●運営委員会 出席者34名

- 1.賀詞交歓会について
- 2.JASPA会報誌 No.61 発行について
- 3.JASPAフェア実行委員会からの報告
- 4.ビジネス支援サービス(仮称)の提供について

●懇親スポーツ大会 太平洋クラブ市原コース



2018年2月15日、16日

神奈川県横須賀市「横須賀セントラルホテル 会議室」にて、運営委員会 開催

(幹事組合:YRP情報産業協同組合)

●運営委員会 出席者26名

- 1.JASPA専任委員会からの報告
- 2.平成30年JASPAフェアについて
- 3.平成30年賀詞交歓会の報告

- 4.Web会議システムGC-gateサービス終了の件
 - 5.日本IT団体連盟 後援申込みについて
 - 6.超学校協会への参画について
 - 7.ワイズトータルサポートとの業務提携について
 - 8.YRP情報産業協同組合からのお知らせ
- 懇親スポーツ大会 葉山国際カンツリー倶楽部



2018年2月22日、23日

東京都品川区「株式会社エー・アール・シー本社 会議室」にて、第1回「体系的に学べるIoT検定試験対策講座」開催

●2月22日 マネジメント分野

- ・戦略とマネジメント 企画推進、PM、企業間連携
- ・産業システムと標準化 スマートシステム、標準規格
- ・法律 通信関連法、製造・航空関連法
- ・セキュリティ 暗号化、攻撃対策、認証、運用

●2月23日 テクノロジー分野

- ・ネットワーク プロトコル、LAN/WAN、PAN
- ・プラットフォーム クラウド、分散処理、データ処理
- ・デバイス 制御、電子工学、センサ技術
- ・データ分析 機械学習、人工知能

2018年3月9日

東京都港区「関東 IT ソフトウェア健康保険組合 山王健保会館」にて、「CSAJ/JASPA/JIET/IVIA共催ビジネスマッチング商談会」開催

JASPAからの参加企業

- ・東京システムハウス株式会社
- ・株式会社エー・アール・シー
- ・株式会社システム・アシスト

2018年3月15日、16日

鹿児島県鹿児島市「天文館ビジョンホール 会議室」にて、運営委員会 開催

(幹事組合:ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 九州支部)

●運営委員会 出席者33名

- 1.JASPA専任委員会からの報告
- 2.平成30年JASPAフェアについて
- 3.第23回通常総会のご案内
- 4.超学校協会への参画について
- 5.H29年度補正IT導入補助金におけるIT連盟の支援につきまして
- 6.消費税軽減税率対策の説明会開催の件
- 7.生産性向上支援訓練を実施する事業取組団体の募集の件
- 8.CSAJ主催「U-22 プログラミング・コンテスト 2018」の協力名義使用の承諾について

●懇親スポーツ大会 鹿児島高牧カントリークラブ



2018年4月12日、13日

沖縄県那覇市「パシフィックホテル沖縄 会議室」にて、運営委員会 開催

(幹事組合:沖縄県ソフトウェア事業協同組合)

●運営委員会 出席者33名

- 1.JASPA専任委員会からの報告
- 2.平成30年JASPAフェアについて
- 3.第23回通常総会のご案内
- 4.超学校協会への参画について
- 5.H29年度補正IT導入補助金におけるIT連盟の支援につきまして
- 6.消費税軽減税率対策の説明会開催の件
- 7.生産性向上支援訓練を実施する事業取組団体の募集の件
- 8.CSAJ主催「U-22 プログラミング・コンテスト 2018」の協力名義使用の承諾について

●懇親スポーツ大会 鹿児島高牧カントリークラブ



2018年5月1日

東京都港区「全国ソフトウェア協同組合連合会 会議室」、大阪市中央区「2nd Lab.夢がかなうバー」にて、JASPA新入社員交流会 開催

- ・2～3年目の先輩社員からの入社後の様々な体験談
- ・「名刺交換」の実践
- ・ZOOMを使った東京/大阪の相互交流





2018年5月17日(TOPICS参照)

東京都品川区「品川区立総合区民会館(きゅりあん)」にて、JASPAフェア2018 開催

今年は、品川区立総合区民会館(きゅりあん)に場所を移し、過去最大の505名の方に来場いただいた。

2018年5月17日、18日

東京都品川区「品川区立総合区民会館(きゅりあん) 会議室」にて、運営委員会、JASPA共済会総会、第23回通常総会 開催

●運営委員会 出席者29名

1. 第23回 通常総会の件
2. 6月度運営委員会開催のお知らせ(宮城)
3. 年間スケジュール決定の件

●JASPA共済会総会

1. 第20期決算関係書類承認の件
2. 第21期における事業の収支計画

●第23回通常総会

1. 平成29年度事業報告書及び決算関係書類承認の件
2. 平成30年度事業計画、収支予算並びに経費の賦課及び徴収方法決定の件
3. 平成30年度借入金残高の最高限度決定の件
4. 1組合員に対する貸付金残高の最高限度決定の件
5. 手数料及び貸付利息の最高限度決定の件
6. 役員報酬決定の件
7. 理事及び監事選挙の件
8. 代表理事、副会長、専務理事、その他役員選任理事会

●懇親スポーツ大会 太平洋クラブ江南コース

2018年6月7日

東京都港区「全国ソフトウェア協同組合連合会 会議室」にて、助成金活用セミナー 開催

- ・人材開発支援助成金の概要
- ・生産性向上・収益性拡大のための人材開発カリキュラム紹介
- ・個別相談

2018年6月14日、15日

宮城県仙台市「宮城県ソフトウェア事業協同組合 会議室」にて、運営委員会 開催

(幹事組合:宮城県ソフトウェア事業協同組合)

出席者25名

1. JASPA専任委員会からの報告
2. Web版ビジネス市場スタートについて
3. 平成30年JASPAフェアご報告
4. 一般社団法人IT検証産業協会(iVIA)との相互入会の件
5. 宮城県ソフトウェア事業協同組合会員ご紹介

●懇親スポーツ大会 富谷カントリークラブ



2018年6月28日、7月13日

東京都品川区「株式会社エー・アール・シー本社 会議室」にて、第2回「体系的に学べるIoT検定試験対策講座」開催

内容は、第1回開催と同じ

2018年7月12日、13日

群馬県吾妻郡長野原町「太平洋クラブ 軽井沢リゾート レストラン」にて、運営委員会 開催

(幹事組合:埼玉ソフトウェア事業協同組合)

出席者19名

1. JASPA専任委員会からの報告
2. Web版ビジネス市場近日スタートの件
3. シリコンバレー視察ツアー開催の件
4. 超教育委員会のプロジェクトの件
5. 「IT検証フォーラム2018」後援名義使用について
6. 「ASPIC IoT・AI・クラウドアワード2018」後援名義使用について

●懇親スポーツ大会 太平洋クラブ 軽井沢リゾート 浅間コース

先端テクノロジーをつくる

TIKYU

地球ソリューションズ(株)は確かな技術をご提供します。

パートナー企業様 求む!!

弊社は様々なシーンでのシステム受託開発|受託請負開発を得意とする企業です。トータルソリューションのご提案から個別システム開発まで、幅広い「ニーズ」と「シーズ」に対応します。システム受託開発|受託請負開発をご依頼、ご相談して頂けるパートナー様を求めています。案件のご相談を頂ける企業様、是非この機会にお声をかけて頂ければと思います。

地球ソリューションズ株式会社

〒980-0014 仙台市青葉区本町3丁目5番21号 ☎022-265-4511(担当:阿久津)

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-10-10 ☎03-3258-5311(担当:岸本)

事業案内 受託開発 / システムインテグレーション / 技術コンサルティング / PMO支援業務



2018年7月27日(TOPICS参照)

東京都港区「グランドプリンス高輪」にて、藍綬褒章受章
向浩一氏祝賀会 開催

平成30年春の褒章で藍綬褒章を受章した向浩一最高顧問の祝賀会が開催された。推薦団体であるJASPAからは安延会長、林副会長、太田副会長をはじめ約50名が出席し、向氏を祝福した。

2018年8月2日、3日

北海道札幌市「ホテル マイステイズ札幌アспен 会議
室」にて、運営委員会 開催

(幹事組合：北海道ソフトウェア事業協同組合)

出席者30名

1. JASPA専任委員会からの報告
 2. 西日本豪雨における義援金について
 3. 2019年JASPAフェア及びJASPA総会の日程について
 4. 2019年11月運営委員会開催地について
 5. 沖縄ITイノベーション戦略センター 賛助会員加入の件
 6. HISCO ITフォーラム開催の件
 7. 北海道ソフトウェア事業協同組合のご紹介
- 懇親スポーツ大会 札幌エルムカントリークラブ



2018年8月23日、24日

東京都港区「全国ソフトウェア協同組合連合会 会議室」
にて、「提案型営業手法」セミナー 開催

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 生産性向上人材育成支援センターが実施する「生産性向上支援訓練」認定後の第1弾セミナー 受講者17名

1. 提案型営業とは
2. 顧客ニーズと自社商品・サービスの強み分析
3. グループワーク・演習など



2018年9月7日

東京都港区「とうふ屋うかい」にて、役員慰労会 開催

参加者 28名

今年限りで退任された3名の理事(前会長 中島 洋、前副会長 吉弘京子、前理事 平川 学)を送りだした。



私たちマイクロ・テクニカは、長年蓄積してきた画像処理技術をベースに、国内外の先端企業ともアライアンスを組み、3Dソリューションをお客様に提供しております。

3Dソリューションには自社製の位相シフト法を応用した3Dステレオカメラ「MyScannerPro」シリーズ、ランダムドットプロジェクトを使用した小型の3Dステレオカメラ「ensense N35,N30,N20,N10」、高精度の3次元測定器(CMM: Coordinate Measuring Machine)の分野では、非接触レーザー方式のカナダNDI社製3Dスキャナー「ProCMM」などを提供しております。

ロボットビジョンの応用システムとして独自に開発したバラ積みピッキング(Bin Picking)や段ボールのデパレシシステムなど、自動車部品や物流関連などの市場向けに特化したシステム製品の開発・販売も行っております。



株式会社マイクロ・テクニカ
〒170-0013 東京都豊島区東池袋3-12-2 山上ビル
TEL: 03-3986-2902 FAX: 03-3986-2549



2018年9月27日、28日

青森県青森市「ホテル青森 会議室」にて、運営委員会、一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会 (ANIA) 全国大会 開催

(幹事組合：青森県ソフトウェア協同組合/一般社団法人全国地域情報産業団体連合会)

出席者20名

1. JASPA専任委員会からの報告
2. 経済産業省情報技術利用促進課長との懇親座談会の件
3. HISCO ITフォーラム、KT-NETフェスタ開催の件
4. 消費税軽減税率対策に関する説明会開催について
5. 一般社団法人日本ニアショア開発推進機構相互入会の件
6. 地域IT企業様との連携による中小企業IT導入支援の取り組み

一般社団法人 全国地域情報産業団体連合会 (ANIA) の全国大会 (青森大会) は、「北前線が運んだ情報ネットワーク! 地域から変わるICTの未来!」をスローガンに、ANIA青森大会の組織委員長でJASPA青森県ソフトウェア協同組合の長内睦郎理事長の開会宣言でスタート、ANIA長谷川亘会長のご挨拶、三浦申吾青森県知事、経済産業省、総務省のご来賓挨拶の後、講演も行われた。懇親会は、AISA若井敬一郎会長の挨拶で始まり、ご来賓の小野寺 晃彦 青森市長のご挨拶、青森を代表する津軽三味線やねぶた祭りのパフォーマンスが盛大に行われた。青森県内の地域料理がふんだんに振る舞われ、組織委員長の長内氏の中締めで幕を閉じた。

●懇親スポーツ大会 青森カントリークラブ



2018年10月18日、19日

大阪府大阪市「大阪新阪急ホテル 会議室」にて、運営委員会 開催

(幹事組合：ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)

出席者28名

1. JASPA専任委員会からの報告
2. JASPA会報誌(2019年号)広告掲載、各組合PR寄稿のお願い
3. 消費税軽減税率対策に関する説明会開催について

4. 平成31年賀詞交歓会について

5. 地域IT企業様との連携による中小企業IT導入支援の取り組み

●懇親スポーツ大会 太平洋クラブ六甲コース



2018年10月24日(巻頭特集参照)

東京都港区「全国ソフトウェア協同組合連合会 会議室」にて、経済産業省 商務情報政策局 情報技術利用促進課長との座談会 開催

今回は出席いただく経済産業省情報技術利用促進課中野課長が2年連続となることから、地方の若手経営者を中心に出席いただき、各地の生の声をお伝えした。

JASPA出席者 安延会長、太田副会長、河原健光(北海道)、三浦克之(青森)、青木雅秀(仙台)、田中豊隆(神奈川)、比毛寛之(東京)、田井中友香(東京)、川井利通(大阪)、奥出邦且(大阪)、青谷哲也(福岡)

2018年10月30日

東京都港区「関東 IT ソフトウェア健康保険組合 山王健康保険会館」にて、「CSAJ/JASPA/JIET/iVIA共催ビジネス マッチング商談会」開催

JASPAからの参加企業

- ・東京システムハウス株式会社
- ・地球ソリューションズ株式会社
- ・株式会社トリプルアイズ
- ・株式会社亜細亜情報システム



2018年11月15日、16日

静岡県三島市「みしまプラザホテル 会議室」にて、運営委員会 開催

(幹事組合：静岡県ソフトウェア事業協同組合)

出席者21名

1. JASPA専任委員会からの報告
 2. Web版ビジネス市場スタートについて
 3. 2019年賀詞交歓会について
 4. 消費税 軽減税率制度に関する説明会のお知らせ
 5. 静岡県ソフトウェア事業協同組合 会員紹介
- 懇親スポーツ大会 グランフィールズカントリークラブ



2018年11月18日～23日(TOPICS参照)

シリコンバレー視察企画実施 参加者19名

2018年11月29日、30日

東京都港区「全国ソフトウェア協同組合連合会 会議室」にて、「品質管理基礎」セミナー 開催

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 生産性向上人材育成支援センターが実施する「生産性向上支援訓練」認定後の第2弾セミナー 受講者25名

1. 品質管理の考え方
2. QCの7つ道具



2018年12月20日、21日

東京都港区「全国ソフトウェア協同組合連合会 会議室」にて、「ものづくりの仕事のしくみと生産性向上」セミナー 開催

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 生産性向上人材育成支援センターが実施する「生産性向上支援訓練」認定後の第3弾セミナー 受講者5名



「情報満載！ビジネスチャンス到来！」

JASPAフェア2019

全国ソフトウェア協同組合連合会

挑戦！Digital Transformation

5月16日(木)

ビジネス市場

～明日にでも契約できる大商談会～

入場無料

基調講演

政官界IT担当官予定、その他技術トラックなども開催予定

10:30～20:00

18:00～20:00は懇親会も開催

場所: きゅりあん 7F イベントホール
(品川区立総合区民会館)

◆JASPAフェア2019概要

場所: きゅりあん(品川区立総合区民会館) 7F イベントホール

アクセス: JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線:

大井町駅 徒歩約1分

日時: 5月16日(木) 13:00～20:00(予定)

参加費: 展示及び講演(無料)、懇親会(5,000円) * 当日現金払い

主催: 全国ソフトウェア協同組合連合会

後援: 一般社団法人 日本IT団体連盟 IT連 (予定)



2019年1月17日

特別講演会および賀詞交歓会
東京都「グランドプリンスホテル高輪」
(幹事:22世紀フォーラム)

特別講演会／トーク・イン・セッション
テーマ「変革の時代にどう挑むか」

- 特別講演会
ヤフー株式会社 代表取締役社長、日本IT団体連盟 会長 川邊健太郎氏
- トーク・イン・セッション パネラー
東京電機大学 学長、
一般社団法人 日本スマートフォンセキュリティ協会 代表理事 安田 浩氏
ヤフー株式会社 代表取締役社長、日本IT団体連盟 会長 川邊健太郎氏
- コーディネーター:全国ソフトウェア協同組合連合会 会長 安延 申

2019年1月17日、18日

事務局長会議・運営委員会・懇親スポーツ大会 於東京都
(幹事:22世紀フォーラム)

2019年2月14日、15日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於神奈川県
(幹事組合:YRP情報産業協同組合)

2019年3月14日、15日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於大分県
(幹事組合:ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合 九州支部)

2019年4月18日、19日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於沖縄県
(幹事組合:沖縄県ソフトウェア事業協同組合)

2019年5月15日、17日

事務局長会議・運営委員会・JASPA共済会総会・
第24回総会・特別講演会・懇親スポーツ大会 於東京都
(幹事組合:ソフトウェア事業協同組合)

2019年5月16日

JASPAフェア 東京都品川区立総合区民会館『きゅりあん』
(幹事:22世紀フォーラム)

2019年6月13日、14日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於宮城県
(幹事組合:宮城県ソフトウェア事業協同組合)

2019年7月11日、12日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於静岡県
(幹事組合:静岡県ソフトウェア事業協同組合)

2019年8月1日、2日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於北海道
(幹事組合:北海道ソフトウェア事業協同組合)

2019年9月19日、20日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於青森県
(幹事組合:青森県ソフトウェア協同組合)

2019年10月10日、11日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於大阪府
(幹事組合:ハイテクノロジー・ソフトウェア開発協同組合)

2019年11月14日、15日

運営委員会・懇親スポーツ大会 於愛媛県
(幹事組合:22世紀フォーラム)

2019年12月

2020年賀詞交歓会実行委員会 於東京都
(幹事:22世紀フォーラム)

編 集 後 記

JASPA会報誌2019年度版を発行しました。編集にあたり2018年度の出来事を経済を中心に総括してみました。当連合会の2018年度の活動状況もこの会報誌で記載してありますのでご一読ください。

さて、この一年の内外のニュースを時系列に沿って振り返ってみますと...

- (1月)大発会で日経平均株価が23,500円台を記録、26年ぶりの高値
- (2月)2017年度の消費支出は前年比、0.3%減。
- (3月)米中貿易戦争・米トランプ政権が、自国産業保護として鉄鋼、アルミ輸入に追加関税／2018年度予算案が成立、過去最大97兆円。
- (4月)2017年時点で日本の総人口1億2,670万人、一年間で22万人減少した。日本の人口ピークは2008年の1.28億人
- (5月)政府が新元号公表を2019年4月1日に
- (6月)史上初の米朝首脳会談、完全非核化で合意／日本版の司法取引制度スタート／成人年齢を引き下げる民法が成立、2022年から成人年齢が18歳に／働き方改革関連法案が成立。
- (7月)西日本豪雨・広島、岡山などを中心に記録的な大雨、死者200人を超す平成最悪の豪雨災害／統合型リゾート法案(IR法案)成立、国内カジノ解禁へ／東京都観測史上初となる40度超え、埼玉県熊谷市では国内観測史上最高となる41.1度を記録。
- (9月)台風21号が上陸、西日本中心に猛威／北海道地震・震度7、被害甚大、道内ほぼ全てで停電／日経平均株価が27年ぶり最高値更新、1991年の24,129円を超える24,286円を記録した。／世界初の月旅行プロジェクト第1号としてゾゾタウン前澤氏と契約／総裁選・安倍首相が連続3選。
- (10月)トヨタとソフトバンクが提携発表、次世代の移動分野サービスを開発へ／東京・築地市場が83年の歴史に幕、10月11日から豊洲市場で営業を開始。
- (11月)アメリカ中間選挙・トランプ大統領が率いる共和党が上院勝利下院では敗北／日露首脳会談...平和条約交渉で双方合意、北方領土2島先行返還へ?／日産ゴーン会長を逮捕、自身の報酬を過少に申告した有価証券報告書の虚偽記載の疑い／2025年万博に大阪選出、55年ぶり大阪万博へ／「出入国管理法」改正案が衆院通過、外国人労働者の受け入れ拡大。
- (12月)今年の流行語大賞に「そだねー」ほか「大迫半端ないって」「おっさ

んずラブ」など／山手線新駅名に「高輪ゲートウェイ」に決定。などなど。12月にこの編集後記をまとめている時点での2018年の内外のニュースです。

我々のIT業界も我が国の経済発展を受け、特に通信や流通の需要増、具体的にはAI、IoT、VR、ロボティクスなどの新たな技術の進化により、今まで経験したことのない新しい時代が訪れようとしています。しかしながら、好況であるがゆえの人不足、さらには人口減、高齢化による「人材不足」は限界に達しているようです。そして我が連合会においての2018年の重大ニュースは、平成30年の春の褒章において、向浩一JASPA元会長/コムチュア株式会社 取締役会長が「藍綬褒章」を受章し、皇居にて天皇陛下による拝謁が行われました。当連合会の誇りです。

JASPAの2018年は1月の「賀詞交歓会、特別記念講演」5月の「通常総会、JASPAフェア」例月、各地で開催する会員との運営委員会と、相変わらず積極的な活動を続けております。

連合会を支える各地の協同組合会員や、その原動力となり手弁当で活躍する各専任委員会メンバーに感謝します。

特に安延会長にはご本人の長年の経験と知識と人脈を連合会のためにフル活用していただき今までにない多くの成果を残しました、改めて御礼申し上げます。

さて、2019年のJASPAはさらに発展する気配がします。

5月1日には新元号が施行されますし、IoT、AIなどに代表される新時代を支えるIT産業の団体として多くの期待が寄せられています。当連合会の2019年のスローガンは...

「挑戦! Digital Transformation」

中小のソフトウェア業の集まりであるJASPAのやる気です。5月には「JASPAフェア」も開催しますので是非ともご参加ください。

毎年のことですが会報誌の編集・発行にあたり、資料のまとめや年間の活動記録、会報誌の多くの原稿を作成していただいた事務局の鷹羽さんに感謝します。

さらに本号の発行に当たり、会報誌の発行の原資であります広告を掲載いただいた広告主各位に厚く御礼申し上げます。

広報委員長/守田 徹

首都圏ソフトウェア協同組合(METSA)

官公需適格組合(20160224関東第35号)



METSAは100社超のソフトウェア業の事業者が結集する協同組合です。

組合員並びに関係団体のご支援ご協力のもと、企業運営全般にお役立て頂くことができる諸事業を実施しております。「ダイレクト商談会」を毎週水曜日に開催、「入札研究会」と共に官公庁入札に挑戦します。「共同求人／人財育成委員会」は中長期の人材確保に資する活動を行い、「組合活性化委員会」は会員相互の親睦と交流を図ります。その他、月例協議会、懇親会、講習講演会、施設利用、社員健康診断など引き続き実施してまいります。

役員

代表理事	安延 申
理事	齋藤 光仁
理事	小池 保典
理事	福原 智
理事	田井中 友香
理事	石川 圭相
監事	樽屋 有美子

アークシステム(株)	(株)アースネット	(株)RJC
(株)アールラーニング	(株)ISLWARE	(株)アイ・クリエイティ
(株)アイブイピー	(株)アイムシステムサービス	アストップ(株)
アスノシステム(株)	(株)アトリス	(株)アビリティ
(株)アフロシー	(株)アンヴィル	(株)E-Safenet
(株)インターフュージョンコンサルティング	(株)インテ・クレッセ	(株)インテリジェンツ
インドコスモシステムプライベートリミテッド	(株)インフィニティシステム	(株)ウチダ人材開発センタ
(株)HT-Solutions	(株)ACU	(株)エスアイリサーチ
(株)エス・イー・シーハイテック	FKC(株)	(株)エフネット
(株)MM総研	(株)エム・ケイ	(株)エムシーキューブHD
(株)エム・ソフト	(株)エム・デー・ビー	(株)OTソリューションズ
(株)オーミック	(株)おきぎんエス・ピー・オー	(株)オモロ
開仁産業(株)	ガゼル(株)	(株)キャリアシステムズ
(株)クオン	グローバル・リレーションズ(株)	(株)ケイ開発
(株)コードダイナミクス	(株)国際マイクロ写真工業社	(株)コスモデザイン
コムチュア(株)	コンピュータハウス ザ・マイクロ東京	(株)コンピュータブラネックス
(株)三恵クリエス	(株)サン・コンピュータ	シースリーインデックス(株)
(株)シーセクト	(株)ジェイテック	シオステクノロジー(株)
(株)システック	(株)システム・アシスト	(株)システムシンク
(株)システムブレインズ	(株)システム・ロジックス	セントラル技研(株)
しゅくみねっと(株)	(株)ジョニー・ジャガー・ジャパン	(株)ゼネテック
総合事務管理(株)	(株)DynaxT	(株)千代田ソフトコンサル
(株)ゾノー	(株)ディア	ティー・アンド・シー(株)
DNVビジネス・アシュアランス・ジャパン(株)	(株)ディープソリューションズ	(株)デジタル
(株)天時情報システム	(株)東報	(株)トリプルアイズ
日本情報産業アライアンス(株)	日本トータルサービス(株)	ネクストウェア(株)
(株)ノベルットソフトウェアインダストリー	(株)パートナー	(株)ハーベル
(株)ハッチエッグ	(株)パワービーンズ	(株)PE-BANK
ヒューロン(株)	(株)ブール・ジャパン	(株)フェザード
For The Win(株)	(株)フォーミックス	(株)プライム・ナンバーズ
プラムシステムズ(株)	(株)ブランチ	ブレインズシステム(株)
ベースシステム(株)	マクロシステム(株)	マルマンコンピュータサービス(株)
万達情報日本(株)	(株)ミライカ	明和ロジシステム(株)
(株)メソドロジック	(株)ユー・エス・イー	ユース・情報システム開発(株)
ラシスソリューションズ(株)	ランアンドケントス(株)	(株)リマック
(株)流通戦略総合研究所	ワクコンサルティング(株)	

事務局 〒108-0074 東京都港区高輪2丁目15番8号 グレイスビル泉岳寺前
TEL.03-3473-9822 FAX.03-3446-4180 担当:小倉 治雄
ホームページ: <http://www.syutoken.or.jp/> E-Mail: metsa_info@jaspanet.or.jp



株式会社 PE-BANK

本 社 tel: 03-3473-9877
 北海道支店 tel: 011-209-1110
 東北支店 tel: 022-355-6901
 中部支店 tel: 052-205-8050
 関西支店 tel: 06-6266-0260
 岡山支店 tel: 086-235-9970
 広島支店 tel: 082-511-8750
 九州支店 tel: 092-263-6306
 京都営業所 tel: 075-555-3021

<https://pe-bank.co.jp>

(コーポレートサイト)

<https://pe-bank.jp>

(PE-BANK オフィシャルサイト)



PE-BANK

プロエンジニアの
 わずらしいこと
 まるごとサポート



「PE-BANK」が ITの現場の人材不足を解消します。

『PE-BANK』では、当社とプロ契約を結んだ "プロエンジニア" としての教育を徹底することで、スキルアップやプロ意識の向上を図り、エンジニアの品質保証を実施し、優秀な "プロエンジニア" を適材適所にコーディネートし ITの現場での深刻な人材不足を解消します。

お客様の企業戦略によりそう

Salesforceを活用したクラウドサービスを!



USEは、本年度で設立49周年を迎える独立系のトータルサービスインテグレータ企業です。

“サービスのご提供”を着眼点に、大手SIer様の優良ビジネスパートナーとして、これまで数多くの大規模システムの構築に携わって参りました。更に、その経験で得た技術力・業務ノウハウを強みに近年一般法人様とのお取引も拡大させております。

USEをお客様のコアエンジンとして存分にご活用ください。ご要望を超えた「真のサービス」を提供して参ります。

株式会社ユー・エス・イー
 代表取締役社長 吉弘 文平

株式会社 ユー・エス・イー



住所 東京都渋谷区恵比寿4-22-10
 tel 03-5449-8511 URL <http://www.use-ebisu.co.jp/>
 資本金 9千万円 従業員数 720人 売上高 93億円
 事業所 東京本社、恵比寿アネックス、広尾ラボ、名古屋、大阪、福岡
 関連会社 (株)ユー・エス・イー ビジネスソリューション (株)ユー・エス・イー コート



各官公庁様
 入札資格ランク A